

井上光蔭す

十二月十六日 乘組員百四十六名、行方不明と爲る
官吏恩給法施行規則を改正す

十二月十七日 陸軍大將井上光蔭す年五十八

十二月十八日 宮内大臣田中光顯を召して宮廷臣僚に對する勅諭を賜ふ○東京麻布大火あり、
八十一戸焼く○儒者若松竹軒歿す年七十八 大學句解、中庸句解、論語句解、莊子句解、孟子句解、詩經句解、老子句解

十二月十九日 天皇、陸軍砲工學校に行幸あり○陸軍省官制、參謀本部條例、教育總監部條例
を改正公布す○陸軍軍人休暇規則を制定公布す○中村是公を南滿洲鐵道株式會
社總裁と爲す○猶興會を解散す○金工家正阿彌勝義歿す年七十七

十二月二十日 憲政本黨代議士會を開く

又新會成る

十二月廿一日 陸軍大將西寛二郎、長谷川好道、川村景明を軍事參議官に、同大島久直を教育
總監に、同大久保春野を韓國駐劄軍司令官と爲す○陸軍少將神尾光臣、牟田敬
四郎、川村益直、中田時懋、小野寺實、手島本蕃、本藤道三、江口昌條、澁谷
在明、豊島陽藏を中將と爲す○陸軍中將渡邊章を第三師團長に、山根武亮を第
八師團長に、上原勇作を第七師團長に、上田有澤を近衛師團長に、土屋光春を第
四師團長に、伊地知幸介を第十一師團長に、神尾光臣を第九師團長と爲す○大
同俱樂部總會を開き宣言書を發表す○河野廣中等四十二名、新政黨を組織し又
新會と稱し、三稅廢止、官僚政治の打破を標榜す○東京鐵道會社、電車賃値上
を請願す、是より反對の聲各處に起る○評論家鳥谷部春汀歿す年四十四 人物評論
外交史

十二月廿二日

日英郵便爲替業務約定を公布す○第廿五回帝國議會を召集す○貴族院實業俱樂
部を解散す 明治人物小觀、時代人物月旦、通
俗政治評論政黨史、明治人物評論

十二月廿三日

長谷場純孝を衆議院議長に、肥塚龍を副議長と爲す○平井晴二郎を貴族院議員
と爲す○俳人雪中庵雀志歿す年五十八 歌二十
四時

十二月廿四日

東京市會に於て電車値上案(一錢)を可決す○小坂鑛山煙毒被害民不穩の報あり

十二月廿五日

天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○海軍艦型試驗所條例を公布す○
有樂座に於て女優養成所第一回試演を行ふ○東京、合資會社高田商會を創立○
醫學者小原賴之歿す年四十九 育兒日記
親ごころ

高田商會を
設立

十二月廿六日

谷干城は貴族院全院委員長に、佐竹作太郎は衆議院全院委員長に當選す○衆議
院議長長谷場純孝は全院一致の決議により、土耳其帝國議會の開設を祝し、併
せて光輝ある發展を希望する旨の祝電を發す○陸軍少將菊池節藏自殺す年五十
二

十二月廿七日

栃木縣足尾町大火あり、百六十戸焼く○又新會主催にて電車値上反對演說會を
東京錦輝館に開く○三絃家鶴澤豐吉歿す年四十七

十二月廿八日

御料地拂下規程を公布す○東洋拓殖株式會社を京城に設立し、宇佐川一正を同
總裁に、吉原三郎を副總裁と爲す○駐清公使伊集院彦吉、清國外務部に袁世凱
を訪ひ、滿洲問題、法庫門鐵道、撫順炭坑、本溪湖炭坑、間島境界等に關する

東洋拓殖會
社設立

侍從武官府
官制公布

交渉を開始す

十二月廿九日 侍從武官府官制を公布す○陸軍中將中村覺を侍從武官長と爲す○東京市の電車賃値上問題に關し、反對運動盛んに起る○伊國シシリ、カラブリア地方に大地震あり、死者約二十萬五千名に達す

十二月三十日 和蘭國特命全權公使ジャンヘルマン・ファン・ロイエン、參内して信任狀を捧呈す

十二月中 國學者森田良見歿す年八十六 國郡變革考、萬葉事實餘情、加賀藩貨幣錄、北海邊要考、白山記放詔

明治四十二年 己酉 皇紀二五六九年 西曆一九〇九年

正月 一日 大阪住友本店を住友總本店と改稱す

正月 二日 清國軍機大臣袁世凱、職を辭して隱退す

正月 四日 韓國皇帝、地方巡幸の爲め京城を發輦あり、統監伊藤博文、之に扈從す、是れ

李朝五百年來未曾有の盛事なり○勤王家藤村紫朗歿す年六十五

正月 五日 天皇、宮中豐明殿に於て内外臣僚に勅語を賜ふ○青森縣三戸郡地引村大火あり

百戸焼く○經濟學者乘竹孝太郎歿す年五十 スペインの社會學原理、貨幣論集、英國憲法史

正月 六日 造船家緒明菊三郎歿す年六十五

正月 七日 皇帝、南韓地方の風物を觀る

正月 八日 天皇、青山練兵場に行幸あり、陸軍始觀兵式を行はせらる

陸軍軍團規則、同主計團規則、同獸醫團規則を各公布す○米國に於て更に排日

韓帝地方巡幸

乘竹孝太郎歿す

陸軍軍團規則公布

北海道廳燒

問題再燃す

正月 十一日 北海道廳全燒す○韓國皇帝、馬山の我第一艦隊旗艦香取に親臨せらる○英國倫敦に於て萬國海戰法會議を開く

正月 十二日 工學博士中村達太郎、理學博士大森房吉を伊國震災地に差遣さる○明治座に於て東京市民大會を開き、電車値上反對を決議す

正月 十三日 鎌倉扇谷附近に於て汽車衝突顛覆して乗客七名負傷す○香港に於ける日貨排斥漸く終熄す

正月 十四日 陸軍中將内山小二郎を第十五師團長と爲す○元露國バルチック艦隊司令長官ロゼストウエンスキー逝去年六十一

正月 十五日 皇后、沼津に行啓あらせらる○海軍勳章褫奪令施行細則を定む

正月 十八日 宮中歌御會始を行はせらる、勅題雪中梅なり○印度王族マイゾール國副王ナラサラジャーワデヨー、神戸に來朝す

正月 十九日 政友會大會を開き、宣言書を發表 ○憲政本黨大會を開き役員を改選す○文相小松原英太郎其官邸に我國文藝發展を圖る爲め文學者を招待す○能役者梅若實歿す年八十二○米國カリフォルニア州下院は外國人の土地所有を禁ずる排日法案を通過す、大統領ルーズヴェルト、直に其排日案全部の撤回を忠告す

梅若實歿す

正月 二十日 日英小包郵便約定の追加條約を公布す

正月 廿一日 (衆)首相桂太郎、施政方針の演説を爲す○東京鐵道會社の電車値上請願却下さ

る○カリフォルニア州下院、排日法案を撤回す

正月廿二日 日露兩國は東清、南滿兩鐵道の聯絡假條約を締結す

正月廿三日 福岡縣若松港大火あり、百二十六戸焼く○(衆)阿里山官營問題を議論す

正月廿四日 子爵野村靖逝去年六十八獨帝國及泰國憲法要論 國家論 交通要論

正月廿五日 秋田縣、小阪鐵道株式會社を設立す

正月廿六日 陸軍大將を師團長に親補特例を廢止す

正月廿七日 韓國皇帝、北韓地方を巡幸あり○露國上院に於て極東自由港廢止法案を可決す

正月廿八日 陸軍給與令を改正公布す○宮内大臣田中光顯、辭表を捧呈す

正月廿九日 淺間山大鳴動あり○政友會總裁西園寺公望、豫算問題に關し首相桂太郎と會見す○岡谷惣助を貴族院議員と爲す○大賊電小僧事西尾柳を捕ふ○實業家堀内庄

右衛門歿す年四十八

正月三十日 東京、麴町區永田町の大日本婦人教育會館成る

二月一日 華族會館に於て談話會の發會式を行ふ京都第十六聯隊第五中隊の兵士十三名、結黨脱營す○群馬縣岩鼻村陸軍火藥製造所に大爆發あり○印度王族マイゾール

國副王東京に到着す○萬國阿片會議を上海に開く○子爵田中不二磨薨す年六十

五米國百年期博覽會教育報告、理事功程、夢山絶句

二月 二日 侍從武官長徽章を制定公布す○(衆)外相小村壽太郎、外交方針を演説す○華族會館に於て市政講究會の發會式を行ふ

談話會成る

田中不二磨薨す

市政講究會成る

二月 三日 韓國皇帝、地方巡幸より京城に還幸あり

二月 四日 郵便電信電話滯納料金徵收規則を定む

二月 六日 關東都督府下水規則を定む○東京、内外火災保險株式會社長高畑運助等拘引さる○濱松鐵工場廢止問題に關する政府の態度に就て同町民激昂し、總代百五十

名大舉して上京す

二月 八日 樺山資紀、蜂須賀茂韶、香川敬三を議定官と爲す

二月 九日 獨佛兩國は摩洛哥に關する協約を締結す

二月 十日 大賊電小僧西尾柳、鎌倉署より脱走す

二月 十一日 皇室登極令、攝政令、立儲令、皇室成年式令を各發布せらる○日比谷公園に於て憲法發布二十年記念祝賀會を開く○統監府小學校規則を定む

二月 十二日 福地山兵營に火あり

二月 十六日 韓國謝恩使宮内府大臣閔丙奭、下關に來朝す

二月 十七日 手品の名人柳川一蝶齋歿す年六十三

二月 十八日 子爵橋本綱常薨す年六十五

二月 十九日 印度王族マイゾール國副王、退京す○甲府商業會議所を設立す○東京府北多摩郡東村山村々民は癩療養所建設に反對し、實地檢分に赴きたる東京府事務官等

を毆打し、志村新太郎等五十四名騷擾罪にて檢舉さる○清國皇帝上諭を發して海軍再興を命ず

攝政令、立儲令公布

橋本綱常薨す

韓國謝恩使
入京

二月廿一日 静岡縣警察署の刑事等は拘摸と結託し、數年來盛んに收賄贓品隱匿恐喝取財の惡事を爲したる事暴露し、事件の範圍は東海道、關西に迄及びり○脱走せる電小僧西尾柳大阪にて捕へらる

二月廿二日 韓國謝恩使閔丙奭入京す

二月廿三日 大給恒、都筑馨六を樞密顧問官と爲す○正親町實正を賞勳局總裁と爲す○印度王族マイゾール國副王ナラサラジャール・ワデョー、下關を發して歸國す○東京深川區越中島大火あり、百二戸を焼く○長春驛に於て日露兩鐵道の聯絡事務を開始す

二月廿四日 憲政本黨常議員會を開き、非政友各派大合同を議決す、非改革派の犬養毅、大合同の不可を主唱し、之を阻止す○東京高等商業學校生徒の松崎校長排斥運動起る

二月廿五日 東京數寄屋橋成る○韓國謝恩使宮内府大臣閔丙奭、參内謁見して親書を捧呈す

二月廿六日 種子田右八郎を海軍造兵總監と爲す○倫敦の萬國海戰法會議を閉會す

二月廿七日 憲政本黨は黨規紊亂を名とし、非改革派の院內總理犬養毅を除名す

二月廿八日 男爵本田親雄薨す年八十一

二月廿九日 上海の萬國阿片會議終了す

二月 中 阿里山官營問題、盛んに論議せらる

三月 一日 海軍中將有馬新一を佐世保鎮守府司令長官と爲す○憲政本黨非改革派は犬養毅

犬養毅除名
さる

の除名處分に關する顛末報告書を發表す○賀茂宮司賀茂水穂歿す年七十○男爵富岡敬明薨す年九十

三月 二日 清國特命全權公使胡惟德、參内して新皇帝の信任狀を捧呈す○(衆)砂鑛法案、遠洋航路補助法案を修正可決す○憲政本黨代議士會を開き、非改革派は院內總理大石正巳不信任を決議す○遠藤良吉(宮城)補缺衆議院議員に當選す

三月 三日 全國織物業者、東京神田錦輝館に於て織物消費稅全廢の大會を開く○憲政本黨改革派は非改革派の飛檄に對し、犬養毅除名の辯明的宣言書を發表す○東京、富士生命保險株式會社を設立す○蘭學者野邊地尙義歿す年八十五

三月 五日 森肇(愛媛)補缺衆議院議員に當選す

三月 六日 在外帝國領事館管轄區域を定む○韓國国籍法を發布す○大阪にわか師匠鶴家團十郎歿す年六十四

三月 七日 畫家吉見盧月歿す年百二

三月 八日 度量衡法執達吏規則を各改正公布す

三月 九日 (衆)通行稅、織物稅、鹽專賣法の各廢止案を否決す

三月 十日 韓國謝恩使閔丙奭、東京を退去す

三月 十一日 故加藤清正に從三位を追贈さる

三月 十二日 感化院規定國庫補助の件公布す○府縣制特例の件公布す○加藤清正三百年祭を熊本にて執行す○米國、中米ニカラグワ國間の國交斷絶す

加藤清正に
贈位

後備大將の
嚆矢

三月十三日 (貴) 總豫算案並に各特別會計豫算案を可決す

三月十五日 (貴) 航路補助法案を可決す○陸軍大將黒木爲禎、後備と爲る、後備大將の嚆矢なり○東京神田青年會館に於て借地人保護會大會を開く

三月十六日 地理學界の泰斗獨逸人ペンゲ博士、横濱に來る○韓國謝恩使閔丙奭、下關より歸國す

三月十七日 (貴) 東京都制案を可決す○埃國特命全權大使ギトカール・ド・ローゼン・グルクエ・クルムバーク、參内して信任狀を捧呈す

三月十八日 又新會は新政黨の宣言及び政綱を發表す○東京、日宗生命保險會社の保險契約を停止す

三月十九日 樺太大泊を輸出港と爲す件公布す○北海道樽前山噴火す○日本精糖會社内部紊亂して整理行惱の結果、大阪、藤本ビルブロウカー倒産す

三月二十日 專賣局官制を改正公布す○(貴) 貴族院令改正案を可決す○(衆) 競馬法案を可決す○長野縣下に大降灰あり、四面晦冥積量二寸餘なり○東京、大平生命保險株式會社を創立す

三月廿二日 帝國鐵道會計法を公布す○(貴) 競馬法案を否決す○憲政本黨非改革派は東京神田青年會館に於て憲政本黨臨時大會を開き、犬養毅の除名否認を決議す

三月廿四日 (貴) 新聞紙法案を可決す

三月廿五日 砂鑛法を公布す○遠洋航路補助法を公布す○第二十五回帝國議會の開院式を行

帝國鐵道會
計法公布

砂鑛法公布

ふ、首相桂太郎、勅語を捧讀す○石川縣下小松町大火あり、三百八十戸焼く

三月廿六日 關東都督府中學校規則を定む

三月廿七日 統監府遞信官署官制を公布す

三月廿八日 皇太子嘉仁親王、越ヶ谷に行啓あり○臺灣總督府官設埤圳規則施行規則を定む

○井伊直弼五十年祭を東京府下世田ヶ谷豪徳寺に於て執行す○本邦生絲直輸の率先者高木三郎歿す年六十九

三月廿九日 臺灣總督府、高等女學校官制を公布す○東宮渡韓記念章制定の件公布さる○收入印紙賣捌規則を定む

三月三十日 帝國鐵道會計規則を公布す○輸出菓子糖果原料砂糖戻税法を公布す○伯刺爾西國特命全權公使ペレイラ、參内して信任狀を捧呈す○小笠原、八丈、伊豆大島

對馬、隱岐、薩摩、大島、宮古島、八重山島に各島廳を設置す○大日本水産會社前重役代議士鈴木久次郎、詐欺取財の嫌疑にて拘引さる○講談師松福亭松鶴歿す年六十五

三月卅一日 北海道廳官制、徴兵検査規則を改正公布す○臺灣關稅規則を公布す○沖繩縣罹

災救助基金法を公布す○伏見宮貞愛親王を清國德宗皇帝葬儀參列の爲め差遣仰付らる○北海道熊泊鑛山雪崩の爲め、坑夫三十名慘死す

四月 一日 家祿賞典處分に關する法律公布さる○樺太大泊港を開港す○東京芝増上寺炎上す○東京上野公園に於て發明品博覽會の開館式を行ふ○造船家白峰駿馬歿す年

島廳を設置

貞愛親王を
清國差遣

増上寺焼く

六十四

立木法公布
日英博覽會
事務局官制
公布

日糖事件起
る

四月 二日 千葉縣疑獄事件起り、縣會議員鈴木祥英、久貝源一等拘引さる

四月 三日 仙臺松島ホテル焼く

四月 五日 立木法を公布す○特許法、意匠法、商標法、實用新法を各改正公布す○大日本

水産會社前重役田村惟昌、不正行為嫌疑にて拘引さる

四月 六日 日英博覽會事務局官制を公布し、大浦兼武を總裁に、松平正直を副總裁と爲す

○米國探検家ペアリー、北極探検に成功す

四月 七日 東京盲學校を文部省直轄と爲す○東北地方大暴雨あり、青森野内驛附近に於て

汽車顛覆し、死傷者三十六名を出す

四月 八日 東部鐵道刈和野境に於て汽車顛覆し、死者七名負傷者四名を出す○滿洲吉林省

官憲は日本煙草の發賣を禁止す

四月 九日 判事檢事官等俸給令を改正公布し、増俸を實施す○産業組合法を改正公布す○

新潟縣刈羽郡荒濱村大火あり、百三十戸焼く

四月 十日 韓國司法官任用令を公布す○東京九段偕行社に於て陸軍主計團の發會式を行ふ

○首相桂太郎、外相小村壽太郎は靈南坂に統監伊藤博文を訪ひて日韓合併に就

きて協議す○大阪市東區今橋二丁目銃砲商榷並信治方にて火藥爆發し、即死二

十二名、行方不明二名、負傷五十餘名を出す
東京地方裁判所檢事は重役不正行為に關し、久しく非難されし日本精糖會社に

赴き、證據書類を押收し、同社監査役恒川新助、重役磯村音介、秋山一祐等を
拘引す

四月 十二日 和歌山縣、私立眞言宗連合高野大學を創立す○地理學者永田健助歿す

日本商業地誌、人口數

四月 十三日 軌道抵當法を公布す○貴族院令、耕地整理法を各改正公布す○土耳其皇帝、軍隊

を以て議會を包圍し、青年黨所屬の大臣及び議員を虐殺す○僧雲照寂す年八十

三 宗教邪正辨、末法開蒙記、佛敎大意、大日本國敎論、佛敎通論、漢學者南摩綱紀歿す年七十八 種痘法を公布す○荒川大橋の開橋式を行ふ○福島縣安達郡針道村大火あり、百

三十戸を焼く○神奈川縣疑獄事件起り、市參事會員川島彦之丞等、拘引さる

四月 十五日 東京芝の土橋の開橋式を行ふ○日糖不正事件に關し代議士栗原亮一、横井時雄

森本駿、荻野芳藏、村松愛藏、横田虎彦等、拘引さる○網走監獄全燒す○臺灣

に大地震あり

四月 十六日 日糖事件に關して代議士佐藤虎二郎、奥野市次郎、長谷川豊吉、臼井哲夫、松

浦五兵衛、澤田寧等、拘引さる

四月 十七日 伏見宮貞愛親王、清國德宗皇帝大葬參列の爲め、東京を出發せらる○故小野蘭

山に從四位を追贈さる○研究會總會を開き、子爵堀田正養を除名す○東京高等

商業學校生徒は商科大學設置運動を開始す

四月 十八日 故小野蘭山百年祭を東京小石川植物園に於て行ふ

小野蘭山に
贈位

軌道抵當法
公布
雲照寂す
種痘法公布

土耳其内亂

四月十九日 六郷川橋上に於て貨物列車衝突脱線顛覆して死傷者八名を出す○新潟縣中蒲原郡澤海村大火あり、二百六十戸焼く○獨、塊、伊三國盟の承認に依り勃牙利、獨立しバルカン半島に一新王國を加ふ

四月二十日 土耳其青年黨蜂起して遂にスタンポールを占領す

四月廿一日 皇后、沼津より還啓あらせらる○煙草賣捌規則を制定公布す○日糖事件に關し

代議士西村真太郎、木下謙次郎、前代議士島津良智等、拘引さる

四月廿二日 韓國觀光團閔燭植等九十四人來朝す○日糖事件に關し代議士小澤愛次郎、拘引

さる

四月廿三日 臺灣私設鐵道郵便物運送規則を定む○船屋殺しとして世上を戰慄せしめたる兇漢

大久保時三郎を死刑に處す

四月廿四日 日糖事件に關し代議士安田勳、木村半兵衛、關野善次郎、拘引さる

四月廿五日 福岡縣三池港の開港式を行ふ○北海道小樽大火あり、七百戸焼く○日糖事件に

關し代議士神崎東藏、前代議士佐々木正藏、内藤利八、拘引さる○土耳其青年

黨、遂に首府コンスタンチノープルを陥落す

四月廿六日 天皇、皇后、濱離宮に行幸啓あり、觀櫻會に臨御し給ふ○商科大學設置問題よ

り高商紛擾重大化し、諸教授等、總缺勤を爲す○開業齒科醫の鼻祖小幡英之助

歿す年六十

四月廿七日 陸軍服役條例を改正公布す○土耳其青年黨は皇帝アブダル・ハミットを廢し、

三池港開港式

四月廿七日

陸軍服役條例を改正公布す○土耳其青年黨は皇帝アブダル・ハミットを廢し、

皇弟レシャットを擁立す

由利公正薨

四月廿八日

印紙犯罪處罰法を公布す○子爵由利公正薨す年八十一 近世實業談、實業談話、金の發行を主張せし原因

四月廿九日

東京音樂學校規程を定む○北白川宮成久王、周宮房子内親王と御結婚あり○伯

四月三十日

爵佐々木高行に侯爵を授く○代議士立川雲平、田村惟昌、拘引さる 耶蘇一代辨妄記、書林の確、人類攻撃劇國會、新約全書評駁

四月三十日

電話至急開通規則を定む○文章家田島象二歿す年五十七 抱腹絶倒詩選、婦女立志歐洲美談、耶蘇教意問答、西國烈女傳、哲學問答、漂流記、ドレスル

四 月 中

土耳其の志士イブラヒム、來朝す

五 月 一 日

建物保護法を公布す○英國支那艦隊司令長官ラムトン中將、東京に來朝す

五 月 二 日

皇太子嘉親仁王、上野公園に行啓あり

五 月 三 日

札幌紋別郡興部村火災の爲め、全滅百六戸焼く○韓國觀光團一行、東京出發歸

五 月 四 日

東京高等商業學校の専攻部を廢止す○留學中の蒙古王トハハト王、東京を出發

五 月 五 日

歸國す○故海軍中將上村正之丞以下七百六十八名を靖國神社に合祀せらる

五 月 六 日

岩元信兵衛を貴族院議員と爲す

五 月 七 日

新聞紙法を公布す○地方官會議を開く○萬國海戰法會議參列委員海軍中將坂本

五 月 八 日

俊篤等歸朝す

五 月 九 日

外國在留帝國臣民の登録規則を定む

五 月 十 日

統監府辯護士規則を定む○落語家三遊亭圓左歿す年五十七

新聞紙法公布

五月 七日 外國在留帝國臣民の登録規則を定む

五月 八日

統監府辯護士規則を定む○落語家三遊亭圓左歿す年五十七

日糖事件豫
審終結

五月 十日 日糖事件の豫審終結し、代議士松浦五兵衛等二十三名を公判に附せらる。○辻川
與一右衛門(長崎)補缺衆議院議員に當選す。○布哇の日本労働者四千名は増給問
題に關して突然同盟罷業を開始す。

五月十一日 旅順工學科學堂官制を公布す。○東京高等商業學校生徒七百餘名は文部省の商科
大學設置問題に激昂し、同盟總退校を決議し、解散式を行ふ。

五月十二日 大林區署分課規程を改定す。

二葉亭四迷
歿す

五月十三日 北海道樽前山噴火す。○小説家二葉亭四迷歿す。年四十八。浮雲、其面影、入露記、血笑記、世
こころ、箭を枕に、わかしの人、乞食、平凡、片戀、あひびき、猶太人、四日間、愛、
狂人日記、二狂人、四人共産國、酒袋、ふさぎの蟲、カルコ集、出産、露助の妻、

五月十四日 宮内省官制を改正公布す。○川島龜夫(長崎)補缺衆議院議員に當選す。

五月十五日 京都商品陳列所を開館す。○横濱にペスト發生す。

五月十六日 伏見宮貞愛親王、清國より歸朝せらる。

五月十七日 福島縣下に大暴風起り被害多し。

五月十八日 福島縣耶摩郡磐梯村に大火あり、百三十四戸焼く。

五月十九日 天皇、海軍大學校に行幸あり。○秋田縣米内澤町大火あり、百十五戸焼く。

五月二十日 皇后、新宿御苑に行啓あり。○伏見宮貞愛親王、參内謁見して復命せらる。

五月廿一日 淺間山噴火す。

表慶館成る

五月廿二日 東京上野公園内表慶館を開館す。○米國前副大統領チャールズ・ウオレン・フエア
バンクス、横濱に來朝す。

横須賀大火

五月廿三日 横須賀市大火あり、五百二十七戸焼く。○文部省は專攻部廢止の省令を撤回し、
高商盟休問題の紛糾遂に落著し、無條件にて學生全部復校す。

五月廿四日 天皇、陸軍經理學校に行幸あり。

五月廿五日 東京控訴院大法廷に於て代議士栗原亮一等二十三名に係る日糖漬職事件の第一
回公判を開く。○川村曄(三重)、粕谷義三(埼玉)、鈴置倉次郎、後藤文一郎(愛

日糖事件公
判

知)、松本君平(静岡)補缺衆議院議員に當選す。

五月廿六日 樺太廳郵便局官制を公布す。

五月廿七日 天皇、陸軍大學校に行幸あり。○皇后、濱離宮に行啓あり。○安藤新太郎(兵庫)補
缺衆議院議員に當選す。

五月廿九日 皇太子嘉仁親王、横須賀に行啓あり。○内閣統計局の移廳式を行ふ。○獨逸ツエツ

ペリン飛行船はコンスタンス湖より三百哩のピターフェルトに到着す、是れ空

中飛行船界に於ける未曾有の長距離飛行なり。○祕露革命黨蜂起して大統領を捕

へ辭職を勧告す、軍隊出動して之を鎮定す。

五月三十日 函館大疑獄事件起る、乃ち鹽務局官吏は鹽商と結託し一年二十萬圓を詐取せし

事暴露し、官吏、商人廿七名拘引さる。

五月卅一日 伏見宮貞愛親王を日英博覽會總裁と爲す。○淺間山大噴火あり。○丹後舞鶴町大火

あり二百七十戸焼く。○福島縣野澤町大火あり、百十七戸焼く。

六月 一日 吉田醇一を宮中顧問官と爲す。○侯爵池田詮政薨す。年四十五。

函館大疑獄
事件起る

國技館成る

六月 二日 東京本所の相撲常設館國技館の開館式を行ふ○日糖事件に關して代議士川島龜夫拘引さる○久保伊一郎(奈良)補缺衆議院議員に當選す

六月 三日 皇后、鎌倉に行啓あり○佐藤秀藏を貴族院議員と爲す

六月 四日 皇后、日比谷公園に行啓あり、日本赤十字社總會に臨み給ふ○京都醫科大學内火あり、理化學實修室を燒失す

日本丸沈没

六月 五日 東京市養育院巢鴨分院成る○青森縣東津輕郡小湊沖に於て汽船日本丸爆發沈没し、乗員二百十五名溺死す

六月 六日 廣島縣尾の道高等女學校成る

六月 七日 皇后、東京慈惠會總會に行啓あり○印度佛陀迦耶の英國々寶釋尊古代石像、東京に到着す○近衛歩兵第二聯隊第二大隊演習中に掩蓋崩壞して、陸軍少佐佐々

緒方洪菴に贈位

六月 八日 故緒方洪菴に從四位を追贈さる

六月 九日 宇都宮第五十九聯隊の兵士十名、中隊長の峻嚴が不滿にて同盟脱營す

六月 十日 天皇、陸軍戸山學校に行幸あり○三宅島、伊豆岬燈臺成る○神奈川縣會議員岡田芳太郎外七名に係る收賄事件の豫審終結し公判に附せらる

皇室喪服令發布

六月 十一日 皇室喪服令を發布す

六月 十二日 皇后、靖國神社能樂堂に行啓あり○醫學專門學校學士號規程を定む

六月 十三日 奥羽線赤岩驛に於て汽車逆行脱線し、死傷者三十四名を出す○僧服部饒海寂す

統監伊藤博文罷む

年五十四 空筆夜話、教導錄、要、教示章義錄

六月 十四日 優渥なる勅語を伊藤博文に賜ふ○韓國統監伊藤博文を樞密院議長に、副統監曾禰荒助を統監と爲す○山縣有朋を樞密顧問官と爲す

六月 十五日 東京府下南品川町大火あり、六十四戸燒く○土浦驛に於て急行列車衝突し、重輕傷者三十三名を出す

六月 十六日 岩倉具定を宮内大臣に、渡邊千秋を次官と爲し、宮内大臣田中光顯、次官花房義質を罷む

六月 十七日 皇后、埼玉縣越ヶ谷町の鴨御獵場に行啓あり

六月 十八日 韓國勅使李會九、東京に到着す○瑞西國特命全權公使フェルナンド・サリス參内して信任狀を捧呈す○統監曾禰荒助、東京出發赴任の途に就く

六月 十九日 韓國統監府鐵道廳官制を公布し、大屋權平を長官と爲す○菊池大麓、帝國學士院會長と爲る○米國副大統領フェアバンクス下關を發して韓國に赴く

六月 二十日 東京芝電話局の交換を開始す○大森驛長時枝虎雄、横領嫌疑にて拘引さる

六月 廿一日 露國國際法學の權威マルテンス博士逝く年六十四

六月 廿二日 統監曾禰荒助、京城に到着す

六月 廿四日 皇后、新宿御苑に行啓あり○陸軍中將鹽谷方國外八名に係る大日本水産會社疑獄事件の豫審終結し、公判に附せらる○清國政府は安奉線改築問題に關する回答をなし、安奉沿線の守備兵撤退を要求す

外國電報規則を定む

六月廿五日 興業師井上竹次郎歿す年六十年
六月廿六日 看守服制を公布す○清國答禮大使載振貝子、下關に來朝す○伯爵島津忠亮薨す年六十一

六月廿八日 横濱開港記念展覽會を開く
六月廿九日 外國電報規則を定む○商科大學を東京帝國大學法科大學に設置の件を公布する
○公證人手數料規則を公布す○露國觀光學生團三十五名、入京す
六月三十日 臺灣總督佐久間左馬太、東京に到着す○大阪、日本石油精製會社社長中野廣太郎、拘引さる

清國答禮大使參内

七月 一日 周防國屋島南端燈臺成る○横濱市に於て開港五十年記念祝賀會を舉行す○清國答禮大使載振貝子、東京に到着す○藻寄鐵五郎(石川)補缺衆議院議員に當選す○韓國勅使李會九、下關を出發歸國す

七月 二日 清國答禮大使載振貝子、參内して親書及び御贈進を捧呈す
七月 三日 代議士栗原亮一等二十三名に係る日糖事件の判決あり、一名無罪他は皆有罪と爲る○静岡警官、掏摸結託事件の首魁元巡查蒔田古平等十八名の判決あり
七月 四日 北海道新夕張炭坑の瓦斯爆發し、即死五名を出し慘狀を極む○樞密院議長伊藤博文、韓國に赴く

代々木練兵場設置

七月 五日 東京府下澁谷町及び代々木幡町に代々木練兵場を設置す○韓國反徒討伐に従事したる陸軍大將長谷川好道以下將士の行賞發表さる

日韓合邦問題を閣議に附す

七月 六日 始めて日韓合邦問題を閣議に附し、各大臣之に署名す○長唄の名手杵屋てる歿す年六十六

七月 八日 清國答禮大使載振貝子、退京さる○政治家小幡儼太郎歿す年六十一
七月 九日 西班牙遠征軍、摩洛哥兵と開戦す、西兵甚々振はず
七月 十日 天皇、東京帝國大學に行幸あり○子爵藤谷爲寛、貴族院議員に當選す○日本精糖會社重役酒匂常明外人名の豫審決定し、有罪と爲る

酒匂常明歿す

七月 十一日 横濱市掃頭山の井伊直弼の銅像除幕式を行ふ○天下の耳目を聳動したる日糖事件の元社長酒匂常明自殺す年四十九 日本肥料全書 米作新論

日韓新協約成る

七月 十二日 皇后、濱離宮に行啓あり○韓國銀行條例を公布す○公證法施行細則を定む○統監曾禰荒助 韓國總理大臣李完用と日韓新協約を締結し 韓國の司法及び警察事務を日本に委託せらる

七月 十三日 清國答禮大使載振貝子、神戸より歸國す
七月 十四日 天皇、學習院に行幸あり○樞密院議長伊藤博文、仁川を出發し歸途に就く
七月 十六日 漢學者國友重章歿す年四十九
七月 十七日 濱職代議士栗原亮一外十名保釋出獄す

荒井邦之助歿す

七月 十八日 高崎第十五聯隊野外演習中、七十餘名の日射病患者を出し、内六名死亡す
七月 十九日 幕末の俊傑荒井邦之助歿す年七十五 地理論略
七月 二十日 樞密院議長伊藤博文、東京に到着し、直に參内謁見して日韓新協約締結の顛末

を復奏す○東亞興業株式會社を設立す

七月廿一日 軌道抵當取扱規則を定む

七月廿二日 曩に豫審廷に於て有罪の判決を受けたる、大日本水産會社長陸軍中將鹽屋方國の本官を免じ、且つ位記返上を允許さる○遠藤吉平(北海道)補缺衆議院議員に當選す○美術評論家福地天香歿す年四十八

七月廿三日 畫家佐竹永湖歿す年七十五

佐竹永湖歿す
郵便貯金局
官制公布

七月廿四日 日韓新協約を發表さる○郵便貯金局官制を公布す○遞信省に電氣局郵便貯金局を設置す○醫學者淺田恭悅歿す年五十四

七月廿五日 伊勢灣に於て軍艦朝日の砲彈爆發して即死五名、重輕傷者六名を出す○名村忠治(福井)鹿島秀麿、(兵庫)補缺衆議院議員に當選す

伊藤博文韓
國皇太子輔
育總裁とな
る

七月廿六日 日米間小包郵便條約の修正條約を公布さる○樞密院議長伊藤博文に韓國皇太子輔育總裁を仰付らる○韓國銀行覺書の調印成る○岩手縣沼宮内町大火あり、百四十八戸焼く○駐清公使伊集院彦吉は清國側梁敦彥と會見し、久しく中絶したる日清兩國間の滿洲に關する諸懸案の交渉を開始す

七月廿七日 韓國中央銀行條約を發表さる○河井重藏、伊東要藏(静岡)永野靜雄(佐賀)土屋大次郎(神奈川)千葉禎太郎(千葉)中島祐八(群馬)早速整爾(廣島)關田嘉七郎(栃木)補缺衆議院議員に當選す

七月廿八日 西班牙國內に非戰論者勃興し、遂にバルセロナに暴動起る

大阪大火

七月廿九日 郵便貯金局分課規程を定む○梨本宮守正王、歸朝せらる

七月三十日 農商務省の商工局を廢し、商務、工務兩局を置く○韓國軍部を廢止し、宮中に親衛府を設置す

七月卅一日 臨時軍用氣球研究會官制を公布す○大阪市大火あり、一萬一千三百六十五戸を燒き、死者六名、大阪北部殆んど全燒す○日糖事件の控訴結審す

七月 中 中野武營、中村彌六等、戊申俱樂部を組織す

八月 一日 韓國皇太子、伊藤博文と同伴し、東京御出發、東北巡啓の途に就かせらる

八月 二日 新潟市大火あり、四百六十三戸焼く○陸軍少將村田惇、井口省吾、谷田文衛、稅所篤文、大谷喜久藏、藤井茂太、秋山好古、長岡外史を中將と爲す○評論家齋藤信策歿す年三十二

八月 五日 大阪市罹災者に救恤金一萬二千圓を賜ふ○東京麴町九段分署巡查宇井三吉外九名に係る警察收賄事件の豫審決定し公判に附す

八月 六日 駐清公使伊集院彦吉は安奉線改築問題に關し、清國政府が妥協の誠意無きを以て日本自ら改築工事を實行する旨を通告す○千葉縣疑獄事件の判決言渡あり

八月 七日 静岡縣磐田郡佐久間村大火あり、百三十二戸焼く○日本側、安奉線改築工事に著手す○高杉晋作の妾梅處尼歿す年六十五

八月 八日 韓國皇太子、札幌に御著あり

八月 十日 伊豆國稻取村燈臺成る○特命全權公使日置益をして亞爾然丁國駐劄を兼しむ○

新潟大火

近江大地震

東京控訴院に於て瀆職代議士長谷川豊吉外十九名の判決言渡あり
 八月十一日 種牡牛貸付規程を定む
 八月十三日 阿片法施行規則を改正す
 八月十四日 神宮遷宮に付き臨時職員設置の件を公布さる○東近江地方大地震あり、東淺井郡の全潰家屋四百三十一戸、半燒一千二百九十戸、即死三十名、坂田郡の全燒家屋三十六戸、其他被害多し
 八月十五日 韓國銀行に關する日韓覺書を發表さる
 八月十六日 近江地方再び大地震あり
 八月十七日 畫家鏃形蕙林歿す年八十三 三哲 小傳
 八月十八日 東京 日本全鑛株式會社を設立す○天津鐵路總局に於て、吉長鐵道及び新奉線に關する借款契約書を日清間にて調印す○伯爵二荒芳之薨す年二十一
 八月十九日 安奉線鐵道改築工事の交渉成立し、覺書の調印成る○渡米實業團濫澤榮一以下五十餘名、東京を出發す○海洋學者田村哲歿す年三十四
 八月二十日 大阪府下河内郡牧方村禁野陸軍火藥庫二棟爆發し、家屋全燒六戸、半燒九十二戸に達す○男爵神山郡廉薨す年八十一
 八月廿一日 日英博覽會古美術品取扱規則を制定す
 八月廿二日 間島地方に於て日、清兩國兵衝突の報あり
 八月廿三日 韓國皇太子、東北行啓より歸京せらる

二荒芳之薨

賴杏坪に贈位

八月廿四日 興行師野呂藤助歿す年八十三
 八月廿五日 故賴杏坪に從四位を追贈さる
 八月廿六日 漢學者植松果堂歿す 周漢尺度 考一卷
 八月廿七日 陸軍中將岡外史を軍用氣球研究會長と爲す○海軍少將武富邦鼎を中將と爲す
 八月廿八日 伊藤博文に日韓關係事蹟編纂を仰付らる
 八月三十日 政友會東北大會を仙臺に開く○欄卷の名人村山兼五郎歿す年六十五
 八月卅一日 上野驛に於て汽車衝突し、重輕傷者三十四名を出す○福岡縣、博多電氣軌道株式會社を設立す
 九月 一日 上柳喜右衛門(長野)補缺衆議院議員に當選す○韓國全羅道を中心とせる暴徒の大討伐を開始す
 九月 二日 關東都督府消防組規則を定む
 九月 三日 陸軍中將木越安綱を第六師團長に、同大谷喜久藏を第五師團長と爲す
 九月 四日 韓國武官留學生四十二名 東京に到着す○日宗生命保險株式會社に解散を命ず
 ○駐清公使伊集院彦吉、清國梁敦彥との間に於て滿洲諸懸案問題及び間島問題の談判全く結了す 間島協約は清國政府をして朝鮮人の雜居及び保護を承認せしめ、滿洲協約は清國政府に大石橋、營口枝線を滿洲鐵道枝線と承認せしめ、撫順及び煙臺の兩炭礦山の採掘權を日本に獲得す○電氣學者神田選吉歿す年五十四 電燈初歩、初等電氣學、電氣工學便覽

間島協約滿洲協約成る

神田選吉歿す

九月 五日 東京日比谷公園松本樓に於て、國民大會記念會を開く○劇作家竹柴萬二歿す年

四十九

九月 六日 旅順工科學堂規則を定む○三浦逸平(愛知)補缺衆議院議員に當選す

九月 八日 滿洲協約、間島協約を各發表す○神戸市荒田村に安徳天皇の御陵發見せらる

九月 九日 能登國曹洞宗大本山總持寺の開祖瑩山禪師に當濟大師の賜諡あり○東京本郷春

川端畫學校
開校

日町の川端畫學校を開校す

九月 十日 米國鐵道王エドワード・ヘンリー・ハリマン歿す年六十一

九月 十一日 東京帝國大學、商科大學を開放す○故徳川秀康に正二位 前田利常、前田綱紀

商科大學開
校

に從二位を及び戸田氏鐵以下二十二名に各贈位あり

九月 十二日 勘亭流書家石井三禮歿す年七十四

九月 十三日 書家青木龍峯歿す年八十

九月 十五日 皇太子嘉仁親王、北陸巡啓の途に上らせらる○立憲政友會本部に於て創立十週

年記念式を行ふ

九月 十六日 伯爵中川久任、貴族院議員に當選す○米國ウイスコンシン大學野球選手十六名

來朝す

九月 十七日 理學者箕作佳吉歿す年五十三 日本近世史、動物新論

箕作佳吉歿
す

九月 十八日 俳優中村時藏歿す年三十四

九月 十九日 政友會臨時政務調査會組織の事を決定す

九月 二十日 鑑定家片山四郎歿す年四十三

九月 廿一日 皇后、上野公園に行啓あり、鑄金會展覽會を觀給ふ○大審院判事今村信行歿す

年七十三 民事訴訟法、民事訴訟法註解、民事訴訟法正解

九月 廿二日 宮中に於て軍旗親授式を行はせらる

九月 廿四日 西本願寺法主大谷光瑞、印度佛蹟巡拜の爲め京都を出發す

九月 廿五日 海軍造兵總監原田惣助歿す年六十二

九月 廿七日 富山縣烏帽子山大鳴動あり、全山陥落して平原と爲る○憲政本黨改革派は常議

烏帽子山大
鳴動

員會を開き、非改革派の融和を希望するの決議をなす○日本書籍株式會社、大

阪書籍株式會社、東京書籍株式會社を設置す

九月 廿八日 海軍造兵總監原田宗助歿す年六十二

九月 廿九日 海軍造兵總監原田宗助歿す年六十二

九月 三十日 篆刻家中川敬所歿す年七十九 日本古印大成、皇朝印典、日本印人傳、印譜考略續集、日

癩療養所設
置

九月 中 東京府下北多摩郡東村山に癩療養所を開設す

十月 一日 伊勢神宮遷御記念繪葉書を發行す○臺灣刑事令施行規則を定む

十月 二日 伊勢大神宮正遷宮式を執行せらる○政友會九州大會を大分に開く

十月 四日 清國政治家張之洞逝去年七十三

十月 五日 伊勢外宮遷宮式を執行せらる○基督教五十年祭を行ふ○興行師守川彌平歿す年

五十二

近松祭を執行

十月 六日 皇太子嘉仁親王、北陸より還啓あり○海軍少將梶川良吉歿す年五十三
 十月 七日 漁船検査規程を定む○信越線御代田驛に於て汽車衝突して負傷者八名を出す
 十月 八日 仙臺高等工業學校を開校す○廣島瓦斯株式會社を設立す
 十月 九日 伊藤博文、渡滿に付き御暇乞の爲め參内謁見す○實業家大河内輝剛歿す年五十八

十月 十日 早稻田大學に於て近松祭を行ふ○山田義三郎を貴族院議員と爲す○非政友關東大會を千葉町に開く

十月 十一日 日清間の交渉問題たりし西澤島問題無事解決す○三井合名會社、三井銀行、三井物産株式會社を設立す

十月 十二日 耕地整理登記令を公布す

十月 十三日 憲政本黨改革派は、非改革派の犬養毅除名撤回、常議員の總辭職等の要求を容れ、遂に兩派の調和成立す○近江水力電氣株式會社を設立す

伊藤博文渡滿

十月 十四日 伊藤博文大磯を出發し滿洲巡遊の途に上る

十月 十五日 耕地整理登記令施行細則を定む

十月 十六日 皇后、新宿御苑に行啓あり○電中市有問題は東京市と會社との間に價格の協定ならず、遂に再び失敗に歸す

十月 十七日 食養論者石塚左玄歿す年五十九鑑藥精義、藥物鑑定法、食養生論、化學食物鹽類編、化學的食養體心論

犯罪即決令公布

十月 十八日 韓國に於ける犯罪即決令を公布す○統監府、裁判所令を公布す○東京市と東京

電燈株式會社との間に報償契約成る

十月 十九日 僧中原東嶽寂す年六十九

嵯峨實愛薨す

十月 二十日 天皇、陸軍騎兵實施學校に行幸あり○皇后、濱離宮に行啓あり○東京都文館中學校焼く○通常郵便物市内特別取扱規則を定む○従一位嵯峨實愛薨す年九十四

○陸軍大將小川又次薨す年六十二

鯨漁取締規則公布

十月 廿一日 鯨漁取締規則を公布す○御前會議を開き、歩兵操典改正の件を審議あり○質造紙幣大詐欺師關口半次郎外共謀者九名を檢舉す、被害高五萬餘圓に達す

十月 廿二日 伊藤博文、奉天に到着す

十月 廿三日 大藏省官制を改正公布す○東海道線木曾川附近に於て汽車衝突し、死傷者五名を出す○東京地方裁判所に於て、大日本水産會社長鹽屋方國外八名に係る被告事件は有罪の判決あり

十月 廿四日 露國大藏大臣コロゾフハ爾賓に到着す

十月 廿五日 軍事上祕密を要する發明の特許に關する規定を公布す

伊藤博文暗殺さる

十月 廿六日 北海道札幌岩内町大火あり、二百七十五戸焼く○樞密院議長伊藤博文、哈爾賓に到着し、露國大藏大臣コロゾフと會見中韓人安重根に狙撃せられて薨す帝國憲法義解、秘書類纂、本邦憲法制定の由來、皇室典範義解、使清復命書

十月 廿七日 郵便物包裝規則を定む○故伊藤博文國葬の件を公布す○海軍中將安保清康歿す年六十九

韓國暴徒蜂起

十月廿八日 天皇、特に宮内大臣岩具定を差遣して韓國皇太子を慰撫し給ふ○韓國皇帝、統監府に行幸あり、弔意を表せらる○憲政本黨大會を東京芝烏森新橋俱樂部に開き、政黨内閣の樹立、地租軽減、財政改革、陸海設備等を決議す
十月廿九日 外務大臣小村壽太郎、兇行犯罪人の裁判を關東都督府地方法院に於て行ふ事を命ず○韓國銀行を京城に創立す○韓國暴徒蜂起し、京釜線伊院驛を襲撃し、官舎に發砲し、停車場、官舎を焼拂ふ

十月三十日 統監府臨寺間島派出所を廢止す○韓國特派大使宮内大臣閔丙爽、京城を出發す
十月卅一日 衆議院より弔詞を故伊藤博文に贈る○韓國政府代表趙重應等、京城を出發す○韓國全羅南北道を横行したる暴徒首魁金海山を捕縛す

十月 中 布哇の日本勞働者の同盟罷業全く復業す

韓國特使來朝

十一月一日 貴族院より弔辭を故伊藤博文に贈る○伊藤博文に男爵を授けらる○故伊藤博文の靈柩、東京に到着す○侍從北條氏恭を伊藤博文邸に差遣して優渥なる御沙汰を賜はる○倉富勇三郎を統監府司法廳長官と爲す○韓國特使宮内大臣閔丙爽等東京に到着す○三井合名會社、株式會社三井銀行、三井物産株式會社、東神倉庫株式會社を開業す

キツチナー元帥來る

十一月二日 英國キツチナー元帥來朝す○間島日本領事館を開館す○韓國政府代表農商大臣趙重應、元老代表中樞院議長金允植、東京に到着す○石狩國中村炭山の瓦斯爆發し、負傷者八名を出す

伊藤博文國葬

十一月三日 天皇、青山練兵場に臨み、觀兵式を行ひ給ふ

十一月四日 日比谷公園に於て故伊藤博文の國葬を行ふ○近衛輜重兵營に火あり

十一月五日 天皇、特別大演習御統監の爲め、宇都宮に行幸あり

十一月六日 天皇、宇都宮發輦あり、黒磯に幸し高久村の御野立所に於て特別大演習を統監し給ふ、キツチナー元帥陪觀す○特命全權大使内田康哉を米國に、特命全權行

使荒川已次を西班牙國に駐劄せしむ
十一月七日 東京本所若宮町の無料宿泊所成る○西班牙軍、モロッコ國カピール族と休戰條約を締結す

十一月八日 來る十二月廿二日を以て帝國議會を召集す
十一月九日 首相桂太郎、政友會總裁西園寺公望と會見して豫算案に關し、竊に其妥協を求む○子爵東胤城歿す年七十二○彫刻家瀧澤友次歿す年三十九

十一月十日 國學院大學に金貳萬圓を下賜せらる○九州、中國地方に大地震あり○甲府上ノ原町大火あり、約百戸焼く○東京府立工藝學校を開校す

十一月十一日 天皇、還幸あり○歩兵操典を公布さる○石狩國砂川村大火あり、二百五十三戸焼く

十一月十三日 皇后、學習院に行啓あり○陸軍大將乃木希典を滿洲に差遣せらる○東京芝三綠亭に於て朝鮮同志會發起大會を開く

十一月十四日 政友會北信八州大會を新潟に開く○關和知(千葉)補缺衆議院議員に當選す○俳

歩兵操典公布

箕田凌頂歿す

入箕田凌頂歿す年七十鶴の夢、文豪秘方、繁陰集、俳諧語種集、鳴鶴俳話、七部集管見錄、雜誌鳴鶴集

十一月十五日 實業家渡邊治右衛門歿す年六十三

十一月十六日 英國キツチナー元帥、京都に赴く

十一月十七日 山縣有朋を樞密院議長に、牧野伸顯を樞密顧問官と爲す○鹿兒島縣大島郡鎮西村大火あり、約百戸焼く

十一月十八日 海軍少將杉盛道歿す年六十七

十一月十九日 天皇、皇后、赤坂離宮に行幸啓あり、觀菊御會に臨み給ふ○英國キツチナー元帥、神戸解纜歸國す○乾龜松(大防)補缺衆議院議員に當選す○鑛學者阿部正義歿す年五十

十一月二十日 皇后、上野公園に行啓あり、美術展覽會を觀給ふ○鹿兒島市に於て鹿兒島線の

開通式を行ふ

十一月廿一日 東京芝二本榎にて一家五人慶殺事件起る

十一月廿四日 強盜業平小僧事新川龜太郎を捕縛す○貴族院議員安藤則命歿す年八十三

十一月廿五日 福岡縣鞍手郡大野浦炭坑に於て瓦斯爆發し、二百五十七名慘死す○篆刻家濱村藏六歿す年四十四

十一月廿六日 天皇、陸軍砲工學校に行幸あり

十一月廿七日 海軍人事部條例を公布す

十一月廿八日 旅順表忠塔の除幕式を執行す、陸軍大將乃木希典、海軍大將東郷平八郎、之に

大野浦炭坑爆發

旅順表忠塔除幕式

臨場す

十一月廿九日 特命全權公使秋月左都夫を特命全權大使と爲し、埃國に駐劄せしむ○東京市内の

掘摸大檢舉を行ふ○山口縣下響灘六連島附近に於て漁船喜佐丸、暴風の爲め沈没し、乗員五十八名悉く溺死す

十一月三十日 高知市大火あり、二百五十戸焼く

十一月 中 算學者萩原禎助歿す年八十三算法方圖彙、算法圖理私論、後圖理算要、監管算法等

十二月 一日 海軍中將財部彪を海軍次官と爲す○海軍大將東郷平八郎を軍事參議官に、同中將上村彦之丞を第一艦隊司令長官に、同伊集院五郎を海軍軍令部長に、同瓜生外吉を横須賀鎮守府司令長官に、同出羽重遠を佐世保鎮守府司令長官に、同島村速雄を第二艦隊司令長官に、同加藤友三郎を吳鎮守府司令長官に、同山田彦八を竹敷要港部司令官と爲す○陸軍少將寺垣猪三、玉利親賢、吉松茂太郎、松本和、藤井較一、北古賀竹一郎を中將と爲す○布哇の日本勞働者増給問題落著す○海軍中將新井有貫逝去年六十一

十二月 二日 伏見宮貞愛親王、滿洲より大阪に歸着せらる

十二月 三日 天皇、陸軍大學校に行幸あり

十二月 四日 横濱相撲常設館成る○韓國一進會長李容九より韓國政府に對し、日韓合併に關する韓帝への上奏書を提出す

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試む

十二月 五日 第一高等學校運動場に於て、在留佛人海軍中尉ル・ブリアール空中飛行機の試

飛行機を試む

韓國一進會上奏

飛行機を試

淺間山噴火

十二月 六日 乘を行ふ○東京府立第四高等女學校を開校す○俳優澤村門之助歿す年四十八
十二月 七日 日本精糖會社重役、磯村音介、秋山一裕、外七名に係る文書偽造行使委託金費
十二月 八日 消及び瀆職法違犯被告事件の判決言渡あり○海軍中將有馬新一薨す年五十九○
十二月 九日 韓國總理大臣李完用、一進會の日韓合併上奏書を却下す
十二月 十日 淺間山大噴火あり、輕井澤黒煙に包まる
十二月 十一日 賀陽宮邦憲王薨す年四十三○東京駐劄智利公使館を開館す○韓國一進會長李容
十二月 十二日 九再び日韓合併上奏書を政府に提出し其執奏を迫る
十二月 十三日 伯雷烏丸光享薨す年四十五
十二月 十四日 鍋島桂次郎を特命全權公使と爲し、白耳義に駐劄せしむ○貴族院議員南郷茂丸
十二月 十五日 逝去年七十二○蘭英學者本野盛亨歿す年七十四
十二月 十六日 統監府郵便振替貯金規則を定む
十二月 十七日 東京山ノ手線電車の試運轉を行ふ○河野廣中等、東京神田錦輝館に於て韓國問
十二月 十八日 題同志會の發會式を行ふ
十二月 十九日 茨城縣石岡町大火あり、九十八戸焼く
十二月 二十日 東京郵便局に於て江戸橋 神田局間、及び江戸橋本局、蠟穀町米穀取引所間に
十二月 廿一日 空氣傳送管を設置し、通信事務を開始せり○漢學者江幡澹園歿す年六十八蓋難餘
事、
十二月 廿二日 東京山の手線電車開通す○衆議院各派の減租聯合會を東京芝紅葉館に開く○北

韓國問題同志會成る

十二月 十六日 海道葛登支岬に於て驅逐艦電、汽船錦龍丸と衝突沈没す○陸軍中將矢吹秀一逝
去年六十二

山手省線開通

十二月 十七日 渡米實業團一行歸朝す○白耳義皇帝レオボルド二世崩御年七十四
十二月 十八日 式部次長伊藤博邦に韓國皇太子御用掛を仰付らる
十二月 十九日 政友會關東大會を東京神田錦輝館に開く
十二月 二十日 鐵道院職員服裝規則を公布す○代議士尾崎行雄、政友會に入會す
十二月 廿一日 種痘法施行規則を公布す○大森鐘一、村上敬次郎、外松孫太郎、安立綱之、澤
柳政太郎を貴族院議員と爲す
十二月 廿二日 第廿六回帝國議會を召集す○岩手縣大槌町大火あり、二百九十一戸焼く○韓國
總理大臣李完用、京城に於て兇漢の爲め刺されて重傷す
十二月 廿四日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ
十二月 廿七日 戸田氏共を式部長官と爲す○實業家境野大吉歿す年五十七○儒者依田學海歿す
年七十七政黨除諷諷女の後日、政黨美談、援難難、俠美人、談叢、芳野拾遺名歌、文覺上人勸進帳、小御
門、連枝菊、話國、竹間善文、夢野道鏡花水月、當世二人女婦、譯海、新編矢口渡、阿新、伊賀局、
忠臣那好臣郎、辨内侍、四世楠木、永仁鎌倉天變、思ひもかけぬこと、二股城、妙林尼、大
久保彦左衛門、霧の上、狂蝶、庵崎、道ある御代、菜摘川、賢婦の智謀、十津川、小野篁

依田學海歿す

佛國謝罪使來朝

十二月 廿八日 横濱オリエンタルホテル焼失す○高橋直治(北海道) 補缺衆議院議員に當選す
明治四十三年 庚戌 皇紀二五七〇年 西曆一九一〇年
正月 二日 米國日本觀光團七百餘名來朝す
正月 四日 伊藤博文遭難の韓國謝罪使鄭寅昌等、下關に來著す

大給恒薨す

正月 五日 韓國謝罪使鄭寅昌、宋鶴昇等東京に至る
 正月 六日 米國務卿ノックス、列國に一篇の覺書を贈り、滿洲鐵道を清國政府に買収せしめ、之を中立せしめん事を提議せり、我國の輿論沸騰す○伯爵大給恒薨す年七十二○政治家江藤新作歿す年四十八南白江藤新平遺稿、武門武士
 正月 七日 茶人千家宗旦歿す年七十四
 正月 八日 天皇、青山練兵場に行幸あり、陸軍始觀兵式を行ひ給ふ
 正月 九日 皇太子嘉仁親王、國技館に行啓あり、相撲を觀給ふ
 正月 十日 韓國謝罪使鄭寅昌等退京す
 正月 十二日 外相小村壽太郎、露國大使と日露兩國原產地證明手数料相互免除に關する外交文書を交換す
 正月 十三日 關東都督大島義昌、其經營改良意見を政府が採用覺束なきを以て辭表を提出す
 ○社會の耳目を聳動したる濱職代議士栗原亮一等、皆入獄す
 正月 十六日 皇后 沼津に行啓あり
 正月 十七日 韓國統監曾禰荒助、參内して對韓政策上に關する意見を具奏す
 正月 十八日 宮中歌御會始めを行はせらる、勅題「新年雪」なり
 正月 十九日 政友會大會を開き、宣言書を發表す
 正月 二十日 大同俱樂部大會を開く
 正月 廿一日 日露兩國は米國に對し、滿洲鐵道中立提議を拒絶するの回答を發す○蜂須賀茂

米國の提議を拒絶

大慧星現はる

正月 廿二日 (衆)首相桂太郎施政方針を演説す○熊本縣私立九州藥學專門學校を設立す○西洋書籍商店の始祖清水卯三郎歿す年八十二
 正月 廿三日 大慧星現はる○神奈川返子開成中學校生徒十二名七里濱近海にて短艇顛覆して溺死す
 正月 廿五日 (衆)政府より新設鐵道法案を提出す
 正月 廿六日 福岡縣田川郡金谷炭坑に火災起る
 正月 廿七日 神戸港に於て始て浮船渠の進水式を行ふ○東京、千代田瓦斯會社を創立す○歌人 中村秋香歿す年七十書翰文大成、皇國文法釋書、日用文鑑、中古文鑑、中古國文書簡文法式、新體詩歌自在、吉野捨遣詳解、落筆物語評釋、伊勢物語評釋、新説歌かたり、不盡廻舍遺稿、土佐日記訓解、新體詩歌集

中村秋香歿す

正月 廿八日 我國造船學の鼻祖三好晋六郎歿す年五十四○外交官赤羽四郎歿す年五十六
 正月 廿九日 韓國平安北道に暴徒蜂起し、日本人殺害さる○臺灣宜蘭廳叭哩沙支廳に生蕃來襲し、警官以下九名殉死す○前貴族院議員海原修平歿す年七十五
 正月 三十日 神奈川縣八王子町の電話開通式を行ふ

米國亞細亞艦隊創設

正 月 中 米國、亞細亞艦隊を創設す
 二 月 一 日 靜岡縣加茂郡稻取村大火あり、三百戸を焼く○名古屋、株式會社いとう呉服店を創立す
 二 月 二 日 韓國順川の暴徒を鎮定す○福島縣知事西澤正太郎歿す年四十八

藤岡作太郎 歿す

二月 三日 芳川顯正を樞密顧問官と爲す○國文學者藤岡作太郎歿す年四十一國文學全史、平定朝篇、日本風俗史

二月 四日 博徒大親分佃政事金子政吉を檢舉す國文學史教科書、東國遺稿、國語教科書、國史綱、近世繪畫史、松雲公小傳、國文學史講話、異本山家集、新體國語教本、同備考、日本文學史教科書、同備考、日本史教科書

二月 五日 借換内債發行規程を定む○富山縣下の名利本法寺炎上す○大阪市の電鐵線路變更問題に關して大疑獄事件起り、市會議員等の大檢舉を開始す

二月 六日 堺市水道工事に關する疑獄事件起り、前市長宮本通義等、拘引さる○薩摩琵琶の大家吉水錦翁歿す年六十六

二月 七日 旅順高等法院に於て殺人犯、安重根、禹連俊、曹道先等の公判を開く○小野光景を貴族院議員と爲す○子爵鍋島直柔逝去年五十三

二月 八日 衛戍病院服務規則を定む

二月 九日 日清郵便條約の調印成る○陶工家濤川惣助歿す年六十四

二月 十一日 東京、横濱間の速達郵便を開始す○京都電車従業員同盟罷業起る

二月 十二日 (衆)地租減稅案を可決す○京都電車同盟罷業無事落着す

二月 十三日 貴族院木曜會分裂して清交俱樂部を組織す

二月 十四日 旅順高等法院に於て伊藤博文暗殺事件の安重根を死刑に、禹連俊を懲役三年に

曹道先、劉德淳を同一一年半の判決言渡あり○僧雲英晃耀寂す年八十一因明大疏方隅香講録、因明活眼、本作法講義、正理門論科圖、因明二十頌、因明三十三過方隅錄、因明大意、因明初歩、東洋新々因明發揮

支那通中島雄歿す年五十八

清交俱樂部 組織

日清郵便條約 成る

無名會組織

二月 十七日 宮内官俸給令を改正公布す

二月 十八日 又新會所屬代議士、入江武一郎等十名、脱會して無名會を組織す

二月 十九日 關東都督大島義昌に大命下り、遂に留任に決す

二月 二十日 岐阜縣笠松町より愛知縣北方町に通ずる延長二百五十二間の木曾川橋成る

二月 廿一日 東京馬車鐵道の創立者谷元道之歿す年六十五

二月 廿二日 教育家高嶺秀夫歿す年五十七新教育學、教育新論

二月 廿三日 畫家馬杉青琴歿す年四十

二月 廿五日 白耳義特命全權公使アルベルト・ダヌタン參内して信任狀を捧呈す○第二回米

國大觀光團七百五十六名、横濱に來朝す○大同俱樂部、戊申俱樂部、無所屬の

三派所屬議員五十三名、合同して中央俱樂部を組織す○陸軍中將稅所篤文逝去

年五十六

二月 廿八日 東京日本電線株式會社を設立す○博物館長垂井重明歿す年六十五

二月 中 日本橋魚市場移轉問題起る

三月 一日 築地精養軒に於て中央俱樂部の發會式を行ふ○東京本所押上町大火あり、百四

十九戸焼く

三月 二日 侯爵佐々木高行薨す年八十一

三月 三日 皇族身位令、皇室親族令を各發布せらる○鹿兒島縣肝屬郡牛根村に大火あり、

百五十餘戸を焼く○韓國京義線に暴徒襲來す○文學者寺山啓介歿す年四十四瑠澤

中央俱樂部 組織

高嶺秀夫 歿す

佐々木高行 薨す
皇族身位令
皇室親族令 公布

瑣史名人
逸話等

三月 四日 (貴) 通行税法案、宅地價修正案、沙金採收地稅案を可決す○全國新聞通信社大會を東京芝烏森湖月樓に開く

立憲國民黨
組織

三月 六日 憲政本黨、又新會、舊戊申俱樂部、無名會等の所屬議員九十二名、立憲國民黨を組織す○富士川鐵橋成る

三月 七日 日英博覽會臨場の爲め、伏見宮貞愛親王を英國に差遣せらる○東京芝紅葉館に於て又新會の解散式を行ふ○韓國反亂の首魁池寬石等を瘞す○漢學者伊藤六石歿す年七十四

三月 九日 芳川顯正を皇典講究所長と爲す○陸軍少將押上森藏、落合豐三郎を中將と爲す

三月 十日 警部補服制を公布す○箕面有馬電氣軌道株式會社を開業す

三月 十一日 九州沖繩八縣聯合共進會を下關に開く○和田豐治、山本條太郎等化學工業會を創立す

漁船遭難

三月 十二日 茨城縣沿海の漁船六十八隻、大暴風の爲め鹿島灘に於て遭難し、溺死八十四名行方不明三百七名を出し、又千葉縣銚子灘に於て漁船七十九隻、乗員一千四十七名、行方不明と爲る

國民黨結黨
式

三月 十三日 憲政本黨臨時大會を東京芝紅葉館に開き、解黨式を行ふ○立憲國民黨の結黨式を芝紅葉館に行ふ○加藤清正三百年祭を築地水交社に於て執行す

三月 十四日 立憲國民黨第一回大演說會を東京神田錦輝館に開く

家畜市場法
公布

三月 十五日 遣外艦生駒は南米亞爾然丁國獨立百年記念祭及び日英博覽會參列の爲め横須賀を解纜す○男爵鍋島茂昌逝去年七十九

三月 十七日 (衆) 電氣事業法案を可決す

三月 十八日 家畜市場法を公布す○(貴) 關稅定率法改正案を可決す○(衆) 外人土地所有權案を可決す○戸山ヶ原射的場に於て、陸軍大尉日野熊藏其發明に係る日野式飛行機の實施飛行試験を行ふ、日本に於ける此種の實地試験の嚆矢なり

横濱大火

三月 十九日 衛戍勤務令を定む○横濱市大火あり、五百八十四戸焼く

三月 二十日 東京銀座の工業所有權協會附屬發明館の開館式を行ふ○子爵水野忠美歿す年三十四

三月 廿一日 伯爵廣橋賢光薨す年五十八

三月 廿二日 蠶絲業者練木喜之歿す年六十一

三月 廿三日 簡閱點呼執行規則を定む○清國皇族載濤貝勒、下關に來朝あり

三月 廿四日 帝國議會の閉院式を行ふ、首相桂太郎、勅語を捧讀す

織物消費稅
公布

三月 廿五日 生産調査會官制を公布す○織物消費稅法、砂鑛區稅法、宅地地價修正法を各公布す○衛戍總督川村景明を軍事視察の爲め歐洲に差遣さる

刑
安重根を死

三月 廿六日 電氣測定法、通行稅施行規則を各公布す○日英博覽會名譽總裁伏見宮貞愛親王、農商務大臣大浦兼武、東京を出發、渡英の途に上らる○旅順に於て兇漢安重根の死刑を執行す年三十二

官吏俸給令改正

三月廿七日 東武鐵道淺草、伊勢崎間成る。○勅選議員安樂兼道等交友俱樂部を組織す。○青森縣中津輕郡西目屋村に於て大雪崩の爲め人夫百餘名壓死す。○官吏俸給令を改正公布し、増俸す。○統監府中學校官制、關東都督府高等女學校官制を各公布す。○文部大臣小松原英太郎をして臨時農商務大臣を兼任せしむ。○井上勝を鐵道院顧問と爲す。○清國皇族載濤貝勒、東京に到着し芝離宮に入る。○實業家金平豊太郎自殺す年四十二。

小杉楡郵歿す

三月廿九日 宮内省官制を改正公布す。○織物消費稅施行規則を公布す。○清國皇族載濤貝勒、參内謁見あり。○韓國高義駿、閔元植等、政友會を組織し、其結黨式を行ひ、皇室尊榮、日韓親善、社會改良、教育振興、實業發達等の綱領を決す。○國學者小杉楡郵歿す年七十七。七寶考、宇治風堂考、上古金石考證、戀古雜鈔、日本美術史書道ノ部、榮花物語月の宴評註、上古織繡考、大日本美術圖誌、樂樂の寶庫

樺太守備隊司令部條例公布

三月三十日 智利國特命全權公使リキルメー、參内信任狀を捧呈す。
三月卅一日 宮内大臣公爵岩倉具定薨す年六十。
三月 中 清國杭州に暴動起り、居留邦人の被害多し。
四月 一日 樺太守備隊司令部條例を公布す。○日清郵便條約を實施す。○京阪電氣鐵道開通す。○新潟醫學專門學校を開校す。○渡邊千秋を宮内大臣と爲す。○文藝雜誌「白樺」を發行す。

淺野長政に贈位

四月 二日 故淺野長政に從三位を追贈さる。
四月 三日 畫家綾岡有眞歿す年六十五。

四月 五日 河村金五郎を宮内次官と爲す。

四月 六日 東京盲學校を設立す。○清國皇族載濤貝勒、橫濱解纜米國に赴く。

四月 七日 製鹽地整理法を公布す。○神戸港外に於て達摩船に滿積せるダイナマイト爆發し、被害戶數二萬、損害二十五萬圓に達す。○講談師邑井一歿す年七十。

四月 九日 男爵小原適歿す年六十九。

四月 十一日 詩人小野湖山歿す年九十七。鎌倉雜感、惜春詞、後惜春詞、湖山老後詩、鄭餘餘意、湖山樓十種等

四月 十二日 宅地價修正法施行規則を公布す。○靖國神社に於て、やまと新聞主催に係る櫻田烈士五十年記念祭を執行す。

四月 十三日 外國人土地所有法を公布す。○銃砲火藥類取締法を改正公布す。○皇太子嘉仁親王は參謀旅行演習御見學の爲め、葉山より岐阜縣下に行啓あり。○貴族院議長徳川家達歐洲に赴く。

四月 十四日 滿洲觀光團、東京に到着す。○宮城控訴院長前田孝階歿す年五十一。民事訴訟法講義、民事訴訟法

四月 十五日 關稅定率法を改正公布す。○東京市内白米商人の不正拵を使用する者あり大檢舉を行ふ。○廣島灣新湊沖に於て潜水作業中の第六潜水艇沈没し、海軍大尉佐久間勉以下十四名、壯烈なる最後を遂ぐ。○清國長沙に暴動起り、教會を焼き領事館を破壊す。

四月 十六日 豫約出版法を公布す。○石川縣輪島町大火あり、一千二百八十六戸焼く。○子爵榎本武憲貴族院議員に當選す。

海野珉乘歿す

四月十八日 臺灣總督府、阿里山作業所官制を公布す○彫金家海野珉乘歿す年三十八

四月十九日 文部省、多年の宿題たる學制案を發表す○海相齋藤實、參内して第六潜水艇沈降引揚の顛末、佐久間艇長以下の壯烈なる最後狀況等を奏上す○東京、王子電氣軌道株式會社を設立す

輕便鐵道法公布

四月廿一日 輕便鐵道法を公布す○漁業法を改正公布す

荻原守衛歿す

四月廿二日 彫刻家荻原守衛歿す年三十二

四月廿三日 盲人鍼按業の全國盲人大會を東京國技館に開催す○東京、東海生命保險相互會社を設立す

四月廿四日 皇后、沼津より還啓あり

四月廿六日 立木登記規則を定む

四月廿七日 天皇、皇后、濱離宮に行幸啓あり、觀櫻御會に臨み給ふ○電話至急開通を定む

日本瓦斯會社を設立

四月廿八日 ○白耳義國特派大使コンスタンゴブイネ、神戸に來朝す○男爵木梨精一郎逝去
日本瓦斯會社を東京に設立す○印度パロダ國王デークワール、長崎に來朝す○殖民學會を設置す○四月廿九日沖繩縣諸祿處分法を公布す

四月三十日 軍人恩給法を改正公布す○佛貨公債四億五千萬法發行規定を發表さる○白耳義國特派大使コンスタンゴブイネ、東京に到着す○勤王家八木雕翁歿す年八十四

四月 中

醫學者大島樸歿す年三十五

葦堂在稿二卷

獨羅和譯語字典、獨羅語新字典、掌中醫範、臨床藥語

遞信博物館

四 月中 郵便博物館を遞信博物館と改稱す

五月 一日 東京日本橋區、千代田橋成る○夜間電話制を開始す○三重縣志摩郡神島燈臺成る

白耳義國特派大使參内

五月 二日 金一萬圓を奈良大佛殿に下賜せらる○陸軍大將西寛二郎、奥保鞆、長谷川好道、大島久直に特命檢閱使を仰付らる○白耳義國特派大使コンスタンゴブイネ參内して親書を捧呈す○印度パロダ國王入京す

五月 三日 青森市大火あり、八千五百十二戸焼く○儒者服部愛軒歿す年六十四

遺文十三卷

五月 四日 沖繩縣諸祿公債規程を定む○板垣退助の多年國家に盡瘁したる功績を賞し特に金貳萬圓を賜はる○俳優市川猿十郎歿す年四十九

五月 五日 政治家齋藤修一郎歿す年四十六

川島甚兵衛歿す

五月 六日 英貨公債一千萬磅發行規定を發表さる○朝香宮鳩彦王、富美宮允子内親王と御結婚あり○英國皇帝エドワード七世崩御年六十九○京都西陣織機業家川島甚兵衛歿す年五十八

五月 十日 宮崎縣東臼杵郡細島燈臺成る

五月 十一日 獨逸巡洋艦隊司令長官海軍中將インゲノール、參内謁見○紀伊須參見港に於て汽船和歌丸沈没し、乗員五十名溺す○航海家平山藤次郎歿す年六十

五月 十二日 青森罹災民に救恤金一萬圓を賜ふ○奧國皇族アントアヌ・ドルンアレ・ブラガンス參内謁見す○白耳義國特派大使コンスタンゴブイネ、横濱解纜歸國す

日英博覽會
開會

五月十四日 男爵神田乃武、貴族院議員に當選す○英國倫敦に於て日英博覽會を開く

五月十五日 廣島市に於て淺野長政三百年祭を行ふ

五月十八日 札幌大火あり、百四十戸焼く

五月十九日 ハレ一彗星、太陽を通過す

五月二十日 東京築地三一會堂に於て英國先皇遙葬式を舉行す

五月廿一日 岡山電氣軌道株式會社を創立す

五月廿二日 奉天に於て本溪湖炭坑合辦に關する日清協定の調印成る○米澤市大火あり、百三十戸焼く

五月廿四日 北海道天鹽村大火あり、二百戸焼く

五月廿七日 國勢調査準備委員會官制を公布し、平田東助を委員長に、阪谷芳郎を副會長と爲す○議院建築準備委員會官制を公布し、桂太郎を委員長に、徳川家達、長谷場純孝を副會長と爲す

五月廿八日 天皇、陸軍士官學校に行幸あり○東京小石川傳通院の上棟式を行ふ○獨逸醫學者ローベルト・コッホ歿す年六十七

五月廿九日 東京須田町の廣瀨武夫中佐の銅像除幕式を行ふ

五月三十日 海外駐劄財務官官制を公布す○陸軍大臣寺内正毅に韓國統監を兼しめ、山縣伊三郎を副統監と爲す○陸軍中將石本新六を臨時軍用氣球研究會長と爲す

五月卅一日 天皇、陸軍中央幼年學校に行幸あり○喜望峰ナタール・ツランズヴァール、オ

五月廿九日 東京須田町の廣瀨武夫中佐の銅像除幕式を行ふ

五月三十日 海外駐劄財務官官制を公布す○陸軍大臣寺内正毅に韓國統監を兼しめ、山縣伊三郎を副統監と爲す○陸軍中將石本新六を臨時軍用氣球研究會長と爲す

五月卅一日 天皇、陸軍中央幼年學校に行幸あり○喜望峰ナタール・ツランズヴァール、オ

南阿大聯邦
成る

五月 中 騰室扶斯流行し猖獗を極む
レンジ、リヴァーコロニー四州の南阿大聯邦成る

六月 一日 海軍大將東郷平八郎に海軍特別檢閱使を仰付らる○陸軍中將長岡外史を第十三

師團長と爲す○印度パロダ王國ゲークワール、退京す○長野縣東筑摩郡中川手

村の山中に於て爆裂彈製造中の無政府主義者幸徳傳次郎等の大逆事件發覺して

捕縛さる

六月 二日 松方正義を日本赤十字社社長に、花房義質を副社長と爲す

六月 三日 皇后、日比谷公園の赤十字社總會に行啓あり

六月 四日 長崎縣五島福江町大火あり、二百三十戸焼く○詐欺取財の嫌疑にて代議士藻寄

鐵五郎、拘引さる○鍼醫合田春悅歿す年七十九

六月 五日 臺灣總督府、生蕃の討伐を開始す

六月 七日 盛岡宮城兩縣下に大出水あり

六月 八日 對馬沿海に於て鯖釣に従事中の漁船七十九隻、遭難し行方不明と爲る

六月 九日 皇后、濱離宮に行啓あり○臺灣製糖會社を設立す

六月 十日 皇后、靖國神社能樂堂に行啓あり○印度ムールバンジュ國王マハラジャ・マル

ハンジ王來朝す

六月十一日 子爵松平容大歿す年四十二

六月十二日 貴族院議員長谷部辰連歿す年六十七

大逆事件起
る

臺灣製糖會
社設立

足利義山寂す

六月十三日 露國觀光團五十餘名來朝す○暹羅王族マユアバンチ國王敦賀に來朝す
六月十四日 第一回國勢調査準備委員會を内閣會議室に開く○有吉忠一を統監府總務長官に
宇佐美勝夫を同參與官と爲す

六月十五日 著作權法、登録稅法を各改正公布す○印度王族マルハンジ王東京に到著す
六月十六日 獨逸聯邦攝政王ヨハンアルブレヒト、東京に來る○臺灣生蕃討伐隊、宜蘭方面に
於て兇蕃ガオガン部族と激戦し、陸軍大尉川和田宗一、中尉野澤銈藏、藤波八五

郎戰死す○男爵島津珍彦逝去年六十七○僧足利義山寂年八十七三帖和讚問答記、三帖和讚俗問、眞宗辨義、眞宗安心三十題啓蒙、三種深信對問

六月十七日 特命全權公使井上勝之助を特派使節と爲し、智利國に、同内田康哉を特派使節
と爲し、墨西哥國に差遣さる

判任官等級令公布

六月十八日 日墨兩國郵便條約を公布す○判任官等級令を公布す○獨逸聯邦攝政王ヨハンアル
ブレヒト參内謁見あり○政治家櫻井一久卒す年五十三

六月十九日 臺灣總督府、所得稅施行規則を定む

六月二十日 天皇、皇后、霞ヶ關離宮に臨幸啓あり、獨逸皇族アルブレヒトを親問し給ふ○
政治家柏田盛文歿す年六十

六月廿一日 伏見宮貞愛親王、歐洲より歸朝せらる○政治家稅所篤逝去年八十四

拓殖局官制公布

六月廿二日 拓殖局官制を公布す○秘書官任用令を公布す○内閣總理大臣桂太郎に拓殖局總
裁を、遞信大臣後藤新平に副總裁を兼しむ○淺川敏靖を馬政局長官と爲す○獨

逸皇族アルブレヒト、退京あり

六月廿三日 伏見宮貞愛親王、歸京せらる○東京、武藏電氣鐵道會社を設立す

六月廿四日 皇后、新宿御苑に行啓あり○醫學者島柳二歿す年三十七

韓國警察權委任覺書

六月廿五日 統監寺内正毅、韓國總理大臣朴齊純と間に韓國警察權委任に關する覺書の調印
成る○横濱市長三橋信方歿す年五十五

六月廿七日 印度ムールバンジュ國王マルハンジ王參内して謁見す

六月廿八日 暹羅國特命全權公使ビヤ・マハ・ヌバツプ參内して信任狀を捧呈す○行司式守
伊之助歿す年五十七

寺島直歿す

六月廿九日 佛國太平洋艦隊司令長官海軍少將ド・ラ・クロア・ド・カストリ參内謁見す○民法
制定者寺島直歿す年七十四

六月三十日 韓國警察權委任覺書を發表す○皇后、小石川後樂園に行啓あり○統監府警察署
官制を公布す

六月 中 首相官邸に於て韓國併合準備委員會を開く

旅順港開放

七月 一日 旅順港を開放し、内外國船舶の自由航行を許可す○陸軍少將明石元次郎を統監
府警務總長と爲す○能樂小鼓名人三須錦吾歿す年七十九

七月 二日 皇后、築地水交社に行啓あり、陸海軍將校婦人會に臨み給ふ

徳川昭武薨す

七月 三日 從一位徳川昭武薨す年五十九參考源平盛衰記

七月 四日 天皇、近衛師團司令部に行幸あり○郵便振替貯金小切手拂込規則を定む○英國

日露新協約
成る

留學中の伏見宮博恭王横濱に歸著せらる○獨逸聯邦攝政王アルブレヒト、神戸
解纜歸國す○駐露大使本野一郎、露國外務大臣イズウォルスキーと日露新協約
を締結す

七月 五日

皇后、東京慈惠會に行啓あり○印度ムールバンジュ國王マハラジャ、マルハン
ジ王横濱解纜渡米の途に就く○南極探検の公表式を東京神田錦輝館に行ふ

商務官官制
公布

七月 六日

天皇、陸軍戸山學校に行幸あり○商務官官制を公布す、定員四名なり○田原豊
を商務官と爲す○韓國人口を調査發表す、韓人一千二百三十六萬三千四百人、
日本人十四萬三千四十五人、外國人一萬千七百九十一人なり

七月 七日

新潟瓦斯株式會社を設立す

前田邸行幸

七月 八日

天皇、本郷元富士町の前田利爲新邸に臨幸あり、能樂を覽給ふ

七月 十日

皇后、前田利爲新邸に行啓あり、能樂を觀給ふ

七月 十一日

天皇、東京帝國大學に行幸あり○陸軍旅費規則を定む

七月 十二日

宮内省官制を改正公布す○特派使節井上勝之助、東京を出發し、智利國に赴く
○野添宗三(兵庫)補缺衆議院議員に當選す○日本法學界の恩人ボアソナード博
士、佛國に於て逝く年八十六

七月 十三日

皇后、新宿御苑に行啓あり○皇太子嘉仁親王、前田利爲新邸に行啓あり○日露
新協約を發表さる○韓國皇太子、山陰、山陰兩道御旅行の爲め東京を出發さる

風俗取締令
發布

七月 十四日

風俗取締令を發布す

七月 十五日

韓國統監寺内正毅、東京出發赴任の途に就く○米國陸軍卿ジエーエー・ヂツキ
ンソン横濱に來朝す

七月 十六日

山内萬壽治、小野田元瀨を貴族院議員と爲す○子爵河鰭實文逝去年六十六

七月 十七日

歐洲列國との間に締結せる我が現行通商航海條約は明年七月を以て廢棄する旨
を列國に通告す○第十四銀行を開業す○東京赤坂見附下に於て電車衝突し、即
死一名、重輕傷者六十名を出す○米國陸軍卿ヂツキンソン退京す

七月 十八日

米國陸軍卿ヂツキンソン神戸解纜マニラに赴く

七月 二十日

北白川宮輝久王を臣籍に降下し、小松姓を賜ひ、侯爵を授けらる

七月 廿一日

實業家三井高縱歿す年四十

七月 廿二日

韓國全羅南道木浦沖に於て汽船鐵嶺丸、坐礁沈没し船長以下二百餘名全部溺死
す○子爵内田正學逝去年六十四

鐵嶺丸沈没

七月 廿三日

韓國統監寺内正毅、京城に到着す

七月 廿四日

中野氣球隊は下野國石橋町に於て自由飛行演習を行ひ好成绩を擧ぐ○東京駐劄
白耳義公使ダヌタン逝去年六十二

七月 廿五日

實業家田中市兵衛歿す年七十三○三絃家杵屋六喜美歿す年八十一

七月 廿六日

北海道有珠山噴火す○此頃、清國革命黨領袖黃興、南洋より來朝し、横濱に於
て孫文と會見して去る

黃興來る

七月 廿七日

陸軍中將岡崎生三歿す年六十

七月廿八日 富士山上に暴風起り、重軽傷者三十四名を出す

七月廿九日 男爵寺島秋介逝去年七十一

七月卅一日 俳優中村芝翫等、馬券事件にて檢舉さる

八月 一日 政治家野尻邦基歿す年六十八

八月 二日 子爵井上勝、英國に於て薨す年六十九

八月 三日 輕便鐵道法施行規則を定む○東京瓦斯工業株式會社を設立す

八月 五日 清國公使汪大燮、來朝す

八月 六日 韓國皇太子、山陰、山陽兩道御見學旅行より歸京せらる

八月 八日 大暴風雨あり、東海道全部及び東山道の諸川増水し、爲めに汽車不通となる○
古物學、有機化學、顯微鏡用法、普魯士學校規則、扶氏藥劑學、普通礦物學有機化學、公衆衛生論

有機化學者柴田承桂歿す年六十一

八月 十日 東京市内大水害の爲め、下谷、淺草、深川、本所の四區殊に被害多し

八月 十二日 洋畫家一條成美歿す年三十四

八月 十四日 赤十字事業の鼻社フローレンス・ナイチンゲール歿す年九十

八月 十五日 清國特命全權公使汪大燮、參内して信任狀を捧呈す○東京相互保險會社を設立す○人形遣の名人桐竹紋十郎歿す年六十六

八月 十六日 東海道線漸く全通す○韓國統監寺内正毅、官邸に於て韓國總理大臣李完用、農

商工大臣趙重應と會見し、始て日韓合併に關する覺書を交附す

八月 十七日 樺太豊原町に樺太神社を創立し、官幣大社に列せらる○東京府下の浸水家屋十

柴田承桂歿す

日韓合併覺書交附

樺太神社を建つ

八萬五千六百三十七戸に達す

八月十八日 韓國昌德宮に於て日韓合併問題に關する韓國政府第一回閣議を開く

八月十九日 子爵倉橋泰顯逝去年七十六

八月二十日 夕張炭山大火あり、百六戸焼く

八月廿一日 首相官邸に於て首相桂太郎、樞密院議長山縣有朋、外相小村壽太郎等會合して

日韓合併に關する方針を決定し、之を内奏す

八月廿二日 臨時樞密院會議を開き、日韓合併條約を諮詢せらる○韓國御前會議を開く、總

理大臣李完用、日韓合併を奏請して許さる○韓國總理大臣李完用は統監寺内正

毅と會見し「韓國皇帝陛下は韓國全部に關する一切の統治權を完全、且つ永久

に日本皇帝陛下に讓與す」との日本、韓國併合條約に調印す○内田嘉吉を臺灣

總督府民政長官と爲す○大阪に於て大逆事件に關し、社會主義者十三名を檢舉

す○東京上野に於て山手電車衝突し、負傷者十六名を出す○前帝國大學總長木

下廣次歿す年六十

八月廿四日 葡萄牙に革命起る

八月廿五日 長與稱吉に男爵を授く○淨瑠璃太夫豊竹八重太夫歿す年六十九

八月廿六日 陸軍中將土屋光春を大將に、少將小泉正保を中將と爲す○陸軍中將淺田信興を

第四師團長に、同安東貞美を第十二師團長と爲す○法學者梅謙次郎歿す年五十

一 民法要義、法律辭書、實買法、佛文和解論、商法講義、債權擔保篇、會社法綱要、法典實義錄、破産法草案說明、
日本實買法、邦文和解法、商法義解、民法原理、民法講義、伊藤公と立法事業、維新後不動産法、韓國の合併と立法事業

日韓併合條約成る

梅謙次郎歿す

韓國併合の
詔書
韓國を朝鮮
と改む

朝鮮制令公
布式制定

八月廿七日 長岡市大火あり、七十戸焼く○男爵原口兼濟、貴族院議員に當選す
 八月廿九日 韓國合併の詔書を發布せらる○東京韓國併合條約を公布す○宮内省に宗秩寮を
 設置し、久我通久を總裁と爲す○韓國を朝鮮と改稱す○朝鮮貴族令、朝鮮總督
 府設置、大赦令、恩賜公債條例を各公布さる○舊韓國皇帝以下王族を公族と爲
 し、名稱を昌德宮李王(舊皇帝) 德壽宮李太王(舊太皇帝) 王世子李垠(舊皇
 太子) 李綱公(舊義和宮) 李寰公(舊興王) と治定あり
 八月三十日 清國皇族載洵、海軍大臣薩鎮冰、大磯に到着す
 八月卅一日 華族に勅語を賜はる
 九月 一日 京城に於て李王冊封式を行ふ
 九月 二日 農商務大臣大浦兼武、英國より歸朝す
 九月 三日 文部大臣小松原英太郎の農商務大臣兼任を解く
 九月 四日 清國皇族載洵、横濱解纜米國に赴く
 九月 五日 朝鮮制令公布式を制定す○朝鮮功臣其他の恩賜公債規程を公布す○千葉縣印旛
 郡公津村大火あり六十八戸を焼く、宗吾靈堂類焼す○男爵長與稱吉歿す年四十
 五○蒔繪師川之邊一朝歿す年八十一
 九月 六日 俳優中村玉七歿す年四十六
 九月 七日 實業家佐藤暢歿す年六十一
 九月 八日 文學、美術的著作權保護修正條約を公布す○俳優西川秀之助歿す年三十四

朝鮮各政社
解散

曾根荒助墓
す

九月 十日 滿洲吉長線聯絡協定成る
 九月十一日 朝鮮の一進會、朝鮮協會、政友會、進歩黨の各政社に解散を命ず○女傑富貴樓
 おくら歿す年七十五
 九月十二日 朝鮮駐劄憲兵條例を公布す
 九月十三日 笛師一喰要三郎歿す年五十九
 九月十四日 子爵曾禰荒助墓す年六十二 世渡の心得、
歳計豫算論
 九月十五日 樺太協會を創設す
 九月十七日 皇后、上野公園に行啓あり、彫工展覽會を觀給ふ○前橋市に於て東京府外十四
 縣聯合共進會を開く
 九月十九日 國際捕獲審檢所追加條約の調印成る
 九月二十日 東京、桂川電力株式會社を設立す
 九月廿一日 東京治水會を設立す○東京、京王電氣軌道株式會社を設立す○英國支那艦隊、
 横濱に寄港す
 九月廿四日 皇太子嘉仁親王、關西地方に行啓あり
 九月廿六日 米國シカゴ大學野球選手、來朝す
 九月廿八日 發電水力調査申請規則を定む○英國支那艦隊司令長官海軍中將サー、アルフレ
 ッド・ウインスロー、參内謁見す
 九月廿九日 山縣有朋、參内して海軍擴張案の意見を具奏す

朝鮮總督府
官制公布

九月三十日 朝鮮總督府官制、同地方官官制、同警察官署官制、同鐵道局官制、稅關官制、同通信官署官制、同營林廠官制、朝鮮醫院官制、同裁判所官制、勸業模範場官制、平壤礦業所官制、中樞院官制を各公布さる

大和田建樹
歿す

十月 一日 統監寺内正毅を朝鮮總督に、副統監山縣伊三郎を政務總監と爲す○金允植を中樞院副議長と爲す○子爵井上匡四郎、貴族院議員に當選す○國學者大和田建樹歿す年五十四日本文學史、日本大辭典、修辭書、謠曲文粹、和文學史、新文林、應用歌學、雪月花、古文讀本、和文典、謠曲通解、帝國唱歌、歐米名家詩集、明治唱歌、漁火

朝鮮貴族に
授爵

十月 二日 化學者山岡茂梧歿す年四十五
十月 三日 皇后、芝離宮に行啓あり、管絃樂を聽給ふ○英國特命全權大使サー・クロード・マツクスウエル・マクドナルド、參内して信任狀を捧呈す
十月 五日 葡萄牙革命軍、遂に共和政府を樹立す
十月 七日 朝鮮貴族授爵式を行ひ、李載完、李載覺、李海昌、李海昇、尹澤榮、朴泳孝に侯爵を、李址鎔、閔泳璘、李完用に伯爵を、李完鎔、李琦鎔、朴齊純、高永喜、趙重應、閔丙爽、李容植、金允植、權重顯、李夏榮、李根澤、宋秉峻、任善準、李載暉、尹德榮、趙民熙、李秉武、李根命、閔泳奎、閔泳韶、閔泳徵、金聲根に子爵を、尹用求、洪淳馨、金奭鎔、韓昌洙、李根湘、趙義淵、朴齊斌、成岐運、金春熙、趙同熙、朴箕陽、金思澹、張錫周、閔商鎔、趙東潤、崔錫敏、韓圭高、兪吉濬、南廷哲、李乾夏、李容泰、閔泳達、閔泳綺、李鐘健、李鳳儀、尹雄烈、李根濬、金嘉鎔、鄭洛鎔、閔種斌、李載克、李允用、李正魯、金永哲、李容元

金寶漢、趙鼎九、金鶴鎔、朴容大、趙慶鎔、金思轍、金炳翊、李貴榮、鄭漢朝
閔燭植に男爵を授く

鮫島員規薨
す

十月 八日 朝鮮總督寺内正毅、臨時恩賜金一千七百三十九萬八千圓を各道に配與す
十月 九日 京城に於て日鮮人大懇親會を開く
十月 十日 舞鶴に於て驅逐艦海風の進水式を行ふ○三絃家野澤語鳳歿す年四十
十月 十二日 朝鮮總督府事務細則を定む○皇太子嘉仁親王、關西より還啓あり
十月 十三日 暴風雨の爲め、再び東京淺草、本所、深川に浸水あり
十月 十四日 松平正直、三浦梧樓、船越衛を樞密顧問官と爲す○海軍大將鮫島員規薨す年六十七

東京盲學校
開校

十月 十五日 天皇、横須賀に行幸あり、戰艦河内の進水式を覽給ふ○皇后、新宿御苑に行啓あり○小石川の東京盲學校を開校す○米人ウオルター・ウエルマン、船行輕氣球にて大西洋横斷飛行の爲め、ニュージャーシー州アトランティック・シティを出發す○伯爵澤宣量逝去年五十一

工場法案發
表

十月 十六日 俳人春秋庵幹雄歿す年八十二俳諧自存法、俳諧名譽談、歲時記季寄、文學心の種
十月 十七日 茶人田原抱月歿す年六十六
十月 十八日 農商務省、工場法案を發表す○臨時治水調査會官制を公布す○大西洋横斷飛行の米人ウオルター・ウエルマンはハットラス岬の沖合三百五十哩の海上に於て遭難し、英船に救助せらる、此の飛行六十九時間に八百五十哩を飛行す

十月二十日 朝鮮總督寺內正毅、東京に歸著す

十月廿一日 北海道、瓦斯株式會社を設立す○政友會北信八州大會を富山に開く

十月廿二日 山内勝明を宮中顧問官と爲す

十月廿三日 清國皇族載洵、米國の海軍視察を終り、横濱に來朝す

十月廿四日 小説家山田美妙歿す年四十三 血の涙、羽ぬけ鳥、金忠輔、漁隊の遠征、一羽那陛下の神、染小袖、平夏木立、盜賊秘事、村上義光、夢幻日記、仇か情、女装の探偵、熊谷直實、二人女、人鬼、妙な夫婦、美妙全集、三郎盛綱、姫百合、露の命、性空上人、さびがたな

十月廿五日 高等女學校令を改正公布す○清國皇族載洵、參内謁見す○臨時治水調査會を開

き、河川改修、砂防工事、森林行政の三件を諮問す

十月廿六日 衆議院議員選舉法を改正公布す

十月廿八日 清國皇族載洵、退京す

十月廿九日 朝鮮貴族觀光團侯爵李海昇一行、東京に到着す○英國倫敦の日英博覽會を閉會

す

十月三十日 臺灣林野調査規則を公布す○僧森愚一寂す年八十一 別時念、佛管見、決鐵抄、歌集

十月卅一日 天皇、陸軍騎兵實施學校に行幸あり

十一月一日 政友會關東大會を前橋に開く○事業家玉置半右衛門歿す年七十三○醫學者志立

富松歿す年三十八 近世花柳病學

十一月二日 青森縣下北郡川内村大火あり、二百五十戸焼く

十一月三日 東京九段借行社に於て帝國在郷軍人會の發會式を舉行す

帝國在郷軍人會發會式

十一月五日 東京水天宮祭禮に於て大雜沓の爲め、十數名の負傷者を出す○子爵西尾忠篤逝

去年六十一

十一月六日 皇太子嘉仁親王、名古屋に行啓あり○東京、淺草簡易圖書館を開館す

十一月七日 來る十二月二十日を以て、帝國議會を召集す

十一月八日 朝鮮王族乘車規程を定む

十一月九日 藤崎明之(高知)補缺衆議院議員に當選す○無政府共產主義者幸徳傳次郎、菅野

すが外二十四名に係る大逆事件の豫審決定す○閨秀小説家大塚楠緒子歿す年三

十六 別の女の顔、隙見、その姉、空性讀篇、はがき、退會、老先生、姉妹、妹の縁、暮れゆく秋、縮帽子、詞林三、歌仙、晴れ小袖、處美人草、當世興味、あきらめ、盲目拾兒、空の柱、雲影、命の親、御新造、行きたる兒

夜花見小袖、北風、そなたこなた、十一號、蛇の目傘、細腰籠、病妻、合性、父親、客問、夏や、朝露

十一月十日 天皇、岡山縣下の特別大演習御統裁の爲め、東京發輦あり○郵便集金規則を定

む○朝鮮貴族團一行、退京す

十一月十一日 九州汽車博覽會を開き門司驛を發車す○相撲年寄振分忠藏歿す年七十三

十一月十二日 天皇、岡山に御着輦あり○皇后、學習院女學部に行啓あり○漁業組合令、漁業

登録令を各公布す

十一月十三日 天皇、倉敷驛に行幸あり、行願寺山にて御統監あらせらる

十一月十五日 帝國農會を設置す○討蕃隊、臺北に凱旋す

十一月十六日 皇后、赤坂離宮に行啓あり、觀菊會に臨み給ふ○故池田輝政、同光政以下二十

名に各贈位あり○東京麻布永坂町の香蘭女學校燒失す

大塚楠緒子歿す

漁業組合令公布

帝國農會設置

日鮮工夫大争闘事件

十一月十七日 天皇、岡山練兵場に臨幸あり、大觀兵式を行ひ給ふ○皇后、日本赤十字社病院に行啓あり

十一月十八日 天皇、岡山御發輦あり○皇后、上野公園に行啓あり、美術展覽會を觀給ふ○東京築地本願寺に於て殉職警官追弔會を執行す○山梨縣北都留郡梁川村に於て日鮮工夫四百餘名の大争闘事件起る、即死六名、重輕傷者十餘名を出す

十一月二十日 天皇、東京還幸あり○露國大文豪トルストイ逝去年八十二

十一月廿一日 品川沖に於て南極探險船開南丸の試運轉を行ふ○名古屋、愛知電氣鐵道株式會社を設立す○相撲年寄武藏川谷右衛門歿す年六十

十一月廿三日 名古屋偕行社焼失す

十一月廿五日 中央西線木曾、福島間成る

十一月廿六日 日比谷公園に於て、南極探險隊の送別會を開く

十一月廿七日 東京府下王子火藥製造所の火藥爆發し、重輕傷者十六名を出す

十一月廿八日 東京芝浦に於て南極探險隊の盛大なる告別式を舉行す

十一月廿九日 燒ヶ嶽噴火す○陸軍大將川村景明、歐洲軍事視察より歸朝す○南極探險隊長白瀬轟中尉以下二十八名、開南丸に乗じて品川灣を出發す○富山縣東水橋町大火あり百六十戸焼く

十一月三十日 陸軍少將仙波太郎、依田廣太郎を中將と爲す○陸軍中將大迫尙道を第十八師團に、同依田廣太郎を第一師團長と爲す○子爵北小路明歿す年三十七

南極探險隊出發

重野安釋歿す

大逆事件公判

信夫恕軒歿す

十二月 一日 家畜市場法施行規則公布す○牛馬商取締規則を定む○海軍中將片岡七郎、上村彦之丞、伊集院五郎を大將に、少將中尾雄、伊知地彦次郎を中將と爲す○東京帝室博物館に盜賊忍入り、大判小判合計八十一點四千二百餘圓を窃取す○第九十五銀行頭取堀川正太郎外五名、不正事件發覺して拘引さる

十二月 二日 淺間山大噴煙あり○男爵郷純逝去年八十六隨意莊印談、隨意莊題詞餘集、隨意莊雅集錄

十二月 三日 黄金井爲藏(神奈川)補缺衆議院議員に當選す

十二月 四日 僧西有穆山寂す年九十提耳錄、洞上安心談、禪戒鈔講話、洞上五位說講話、學適用心集、西有禪話、辨道話講話

十二月 五日 徳川家達、貴族院議長に重任す

十二月 六日 漢學者重野安釋歿す年八十四萬國史綱目、皇朝世鑑、成齋文集、國史眼、維新史、國史綜攷、寓字日記、吉備公傳發釋、史徵實考證、大日本編年史、靖方溯源伏敵編等

十二月 七日 河村金五郎を皇室豫算會議委員長と爲す

十二月 八日 男爵原田一道逝去年八十一

十二月 九日 醫學者柏村貞一歿す年五十一

十二月 十日 東京地方裁判所に於て無政府主義者幸徳傳次郎外二十五名に係る大逆事件第一回公判を開く、警戒嚴重を極め、直ちに傍聽を禁止す

十二月十一日 貴族院議員三浦安逝去年八十二○漢學者信夫恕軒歿す年七十六赤穂誠忠錄、詩文稿、恕軒文鈔、恕軒詩鈔、則、赤穂義士實談、

十二月十二日 善光寺尼公久我誓圓寂す年八十三

十二月十三日 平山成信を日本大博覽會々長と爲す○ライオン齒磨の創始者小林富次郎歿す年

五十九

十二月十四日 代々木練兵場に於て陸軍大尉日野熊藏始てグラデー單葉式飛行機の試揚を行ふ
十三四米飛揚す○智利特派使節井上勝之助、歸朝す○京都織物業西村治兵衛歿す年四十九

十二月十五日 横濱大火あり、百六十一戸焼く○静岡縣富士郡北山村本門寺炎上す○醫學者田中苗太郎歿す年四十二

十二月十六日 秋田鑛山専門學校規程を定む

十二月十八日 海軍中將向山慎吉歿す年五十八

十二月十九日 代々木練兵場に於て徳川大尉、飛行距離三千米の記録を作る

十二月二十日 第二十七回帝國議會を召集す○大倉喜八郎等、日本自動車俱樂部設立す○朝鮮總督寺内正毅、東京出發赴任す○鼓打名人望月太左衛門歿す年七十六

十二月廿二日 東北帝國大學官制、九州帝國大學官制を各公布す○舊又新會を解散す

十二月廿三日 第二十七回帝國議會の開院式を行ふ

十二月廿四日 皇室財産令を公布す○二條基弘は貴族院全院委員長に、竹越與三郎は衆議院全院委員長と爲る○男爵内田政敏、貴族院議員に當選す

十二月廿五日 淺間山大爆發す

十二月廿七日 朝鮮鎮海に第五海軍區軍港を設く○荒川義太郎、加太邦憲、伊瀬知好成、折田彦市を貴族院議員と爲す

十二月廿七日 淺間山大爆發す

十二月廿七日 朝鮮鎮海に第五海軍區軍港を設く○荒川義太郎、加太邦憲、伊瀬知好成、折田彦市を貴族院議員と爲す

東北帝國大學官制九州帝國大學官制公布
皇室財産令發布
淺間山爆發

彦市を貴族院議員と爲す

十二月廿八日 野戰砲兵操典、輜重兵操典を改定す○防備隊條例を改正公布す○青木鐵太郎を商務官と爲す○栃木縣上都賀郡粕尾村大火あり、百二十五戸焼く○刀劍鑑定家今村長賀歿す年七十七

十二月廿九日 朝鮮總督府會社令を公布す

十二月三十日 李王職官制を發布す○貴族院議員徳久恒範薨す年六十六

十二月卅一日 岡山市大火あり、百戸焼く

十二月 中 廣軌鐵道計畫發表さる

十二月 中 廣軌鐵道計畫發表さる

十二月 中 廣軌鐵道計畫發表さる

明治四十四年 辛亥 皇紀二五七一年 西曆一九一一年

正月 一日 東北帝國大學理科大學、九州帝國大學工科大学を各開設す

正月 二日 音曲家二代豊澤團八歿す年五十

正月 四日 千葉縣銚子の沖合に於て出漁中の鮪船八十七隻、乗組員約一千名、行方不明と爲る

正月 五日 東京大相撲分離巡業の紛擾問題起る

正月 六日 米國カリフォルニア州に於て又排日運動起る○男爵伊達宗敦逝去年六十四

正月 九日 李王世子、始て學習院中學部に御入學あり○名古屋福壽火災保險株式會社を設立す

正月 十日 東京、合資社安藤組を設立す

正月十一日 殿島神社住吉神社を官幣中社に列せらる○伯爵堀田正倫逝去年六十一○劇通家

米國排日問題起る

理科大學工科大学開校

李王職官制發布

今村長賀歿す

長谷寺焼く

正月十二日 松本觀阿歿す年七十七
大和國名刹長谷寺炎上す○岩手縣九戸郡沖合に於て、汽船米山丸坐礁沈没す○
男爵高崎安彦逝去年四十三

正月十三日 濱岡光哲(京都) 補缺衆議院議員に當選す○朝鮮人安明根、陰謀發覺して逮捕
せらる

正月十五日 東京大相撲協會力士東西横綱、大關を除く五十四名、賦金問題に關し遂に脱退
して新橋俱樂部に籠城す

正月十六日 皇后、沼津に行啓あり

正月十八日 宮中に於て歌御會始を行はせらる、勅題「寒月照梅花」なり○海軍中將三須宗
太郎を舞鶴鎮守府司令長官と爲す○首相桂太郎、法相岡部長職、内相平田東助

大逆事件の
判決
減刑の恩命
下る

し、待罪書を捧呈す○小倉市朝田町遊廓全焼す○東京大審院大法廷に於て大逆
事件の判決言渡あり、無政府共產主義者幸徳傳次郎、菅野すが、森近運平、宮
下太吉、新村忠雄、古河力作、坂本清馬、奥宮健之、大石誠之助、成石平四郎、
高木顯明、峰尾節堂、崎久保誓一、成石勘三郎、松尾卯一太、新美卯一郎、佐
々木道元、飛松與次郎、内山愚童、武田九平、岡本穎一郎、三浦安太郎、岡林
寅松、小林丑治を死刑に、新田融を懲役十一年に、新村善兵衛を同八年に處す
正月十九日 第一回國民黨大會を開く○政友會大會を開き、宣言書を決議す○減刑の恩命下

雨宮敬二郎
歿す

正月二十日 首相桂太郎以下三大臣に優渥なる聖旨を賜はり、待罪書を却下せらる○實業家
雨宮敬二郎歿す年六十六 財政經濟國
是意見

正月廿一日 長崎に於て大驅逐艦山風の進水式を行ふ○畫家上田耕沖歿す年九十三
久しく紛擾を重ねたる東京大相撲協會對同盟力士の調停成る

幸徳傳次郎
等を死刑

正月廿四日 東京監獄に於て大逆事件の幸徳傳次郎 年四 等十一名の死刑を執行す
東京美術學校焼失す○畫家野村文舉歿す年五十八 和洋畫手本
日本畫帖 ○菅野すがの死刑を
執行す

政府政友會
と提携成る

正月廿六日 首相桂太郎、西園寺公望と會見して政府、政友會との提携成る

正月廿七日 俳人夜朴庵有樂歿す年七十六

正月廿九日 北海道留萌地方にて積雪二丈餘に達し、二十年來の大降雪あり

正月卅一日 理學者松井直吉歿す年五十五

二月 一日 速達郵便規則を定む○閔丙爽を李王職長官に、小宮三保松を同次官と爲す

二月 二日 子爵愛宕通則歿す年四十八

二月 三日 僧島地默雷寂す年七十四 三國佛敎略、觀無量壽經講義、修
齋通書、信因稱報義、維摩經講義

二月 六日 國技館大相撲に於て力士鳳對西ノ海の取組に關し、大紛擾起る

島地默雷寂
す

帝國劇場成る

二月七日 小樽高等商業學校規程を定む

二月 八日 南極探險隊白瀬蟲中尉一行、英領新西蘭首府ウエリントンに到着す

二月 九日 朝鮮總督府郵便規則を定む

二月 十日 東京帝國劇場成る

二月十一日 首相桂太郎を召し、窮民施藥救療費として御内帑金百五十萬圓を下賜せらる○京濱間の速達郵便を開始す○日本南極探險家、ウエリントンを出發して南極に向ふ

二月十二日 相模中郡須馬村大火あり、三百二十四戸焼く

南北正閏論起る

二月十三日 代議士藤澤元造は國定歴史教科書中南北兩朝併立と斷ぜるを發見し、是れ國民をして順逆正邪を誤らしめ、延いては皇室の尊嚴をも傷け、國民道德の根本を破壊する者なりと爲し、質問書を衆議院に提出す、輿論は擧げて之を聲援し、政府頗る狼狽せり

二月十四日 海軍大將東郷平八郎、陸軍大將乃木希典、式部長官戸田氏共以下五名に英國皇帝戴冠式御參列の東伏見宮依仁親王、同妃の隨員を仰付らる○(衆)總豫算案を討論し、大紛擾起る○東京深川降炭問題に就き同區民代表はセメント會社々長淺野總一郎を訪ひ談判を開始し、是より問題益々擴大す

二月十五日 首相桂太郎、南北正閏問題に關し代議士藤澤元造と會見して教科書の改訂を明言す

日米新條約成る

二月十六日 代議士藤澤元造、南北正閏問題の質問書を撤回し且つ辭表を提出す、世人、之を政府の壓迫の結果と爲し、輿論囂々として沸騰す○僧勝峰大徹寂す年八十四

二月十七日 關東都督府臨時防疫部官制を公布す○落語家桂文治歿す年六十六

二月十八日 長崎に於て汽船春洋丸(一萬三千七百噸)の進水式を行ふ○上野驛より信州善光寺宛發送したる柳行李より婦人慘死體現はれ世人を驚かす○淨瑠璃太夫竹本綾瀨太夫歿す年六十四

二月廿一日 日米修正通商航海條約の調印成る○(衆)國民黨より大逆事件並に南北正閏論に關する内閣問責決議案を提出す

二月廿二日 樺太漁業令を改正公布す○三絃家野澤吉兵衛歿す年七十一
二月廿四日 (衆)内閣問責決議案を否決す○佐世保海軍船渠第三號竣工す、世界の大神渠と稱せらる

二月廿五日 朝鮮總督府に於ける土地調査員任用令を公布す○北海道新夕張炭坑の瓦斯爆發して即死十六名を出す

二月廿六日 東京、東亞鑛業株式會社を設立す

法然に大師號宣下

二月廿七日 淨土宗の開祖法然に明照大師の諡號宣下あり○國定教科書歴史讀本に對する批難に最も關係深かりし文學博士喜田貞吉に休職を命ぜらる

二月 中 米國政府はパナマ運河竣工の曉には艦隊全部を太平洋に置き、パール港を根據地と爲す旨發表す

日露鐵道聯絡開始

三月 一日 日露兩國鐵道の聯絡運輸を開始す○帝國劇場の開場式を行ふ○辯護士櫻井熊太郎歿す年四十八

三月 二日 (衆)工場法案、蠶絲業法案を可決す○山梨縣嶽澤町大火あり、百餘戸を焼く

三月 三日 山口縣下宇部炭坑に於て地層墜落し、坑夫七十五名慘死す

改正恩給法公布

三月 四日 改正恩給法を公布す

三月 六日 千葉縣安房郡富崎村大火あり、百四十二戸焼く○天下の耳目を驚倒せしめたる行李詰婦人慘殺事件の犯人堀文在門、大阪にて捕へらる○代議士木下謙次郎等

國民黨より分立して大分國民黨を組織す○森秀次(大阪)補缺衆議院議員に當選す

森槐南歿す

三月 七日 砂糖戻税法を改正公布す○詩人森槐南歿す年四十九

朴詩李詩韓詩王漢生詩講義、唐詩選評釋、補卷天傳奇、古詩平仄論、活潑詩南集、同遺稿等

三月 八日 身延山久遠寺所屬の大伽藍覺林坊炎上す○大阪株式仲買人岩本榮之助、百萬圓

を公共事業に寄附す

三月 九日 朝鮮人の寺内總督暗殺陰謀事件發覺す

三月 十日 東京西ヶ原蠶業講習所燒失す○南極探險隊白瀬中尉一行は南緯七十五度に達し

三月 十一日 銃砲火藥類取締法施行規則を公布す○改正鑛業法を公布す○御料地廿九萬八千

二百三町七反七畝を山梨縣有財産として下賜せらる○男爵坪井九八郎、貴族院

栗原亮一歿す

三月 十二日 代議士國井庫、原鹿造、江島久米雄、大石熊吉等國民黨を脱黨す

三月 十三日 故大安萬麻呂に従三位を追贈せらる○政治家栗原亮一歿す年五十八泰西名家政治論、革命新論、板垣傳

教科書訂正

三月 十四日 文部大臣小松原英太郎、國定教科書日本歴史の改正を訓令し、從來の『兩皇統の

交代』を『朝廷と幕府』に『建武中興』を『建武中興足利尊氏の叛』に『南北朝』を『吉野の朝廷』と改稱す○(衆)電氣事業法案を可決す○男爵太泰供康貴族院議員に當選す○貴族院議員宮島誠一郎歿す年七十四養浩書集、新詩史、養浩堂詩集

三月 十五日 暹羅國特命全權公使ブラチアム・ノンデターカー、參内して信任狀を捧呈す

三月 十六日 東京博進社を設立す○京都本願寺に於て宗祖見眞大師六百五十年遠忌法要を執行す

三月 十七日 北海道新夕張炭山に於て瓦斯爆發し、即死十五名、重輕傷者十三名を出す

夕張炭山爆發

三月 十八日 埼玉縣埼玉郡下の農民八千名、中條堤防の工事に關し、大舉して縣廳に押懸けて陳情す

三月 二十日 國民黨より決算不當決議案を衆議院に提出す○狂言師山脇和泉歿す年六十三

三月 廿一日 (衆)決算不當決議案を否決す

三月 廿二日 豊州本線小倉、日出間の鐵道成る

三月廿三日 治水費資金特別會計法、輕便鐵道補助法、朝鮮事業公債法、同特別會計法、同森林特別會計法を公布す○第廿七回帝國議會の閉院式を行ふ、首相桂太郎、勅語を捧讀す○函館大火あり、百二十七戸焼く○米國加州上院に於て日本人土地所有禁止案を可決す

三月廿四日 澤柳政太郎を東北帝國大學總長と爲す

三月廿五日 朝鮮制令法を公布す○洋畫家青木繁歿す年三十

三月廿六日 始めて所澤飛行場に於て飛行機を試揚す○海軍中將相浦紀道逝去七十一

三月廿七日 陸軍大將長谷川好道、貞愛親王、川村景明に特命檢閱使を仰付らる

三月廿八日 東京市施療院の開院式を行ふ○淺野セメント會社對深川區民の降炭紛擾問題、解決す○早稻田大學野球選手、渡米の途に就く○横濱製綱株式會社を設立す

三月廿九日 工場法、蠶絲業法、朝鮮銀行法を各公布す○日英博覽會事務局官制を廢止す

三月三十日 電氣事業法を公布す○司法事務共助法を公布す○吳に於て戰艦攝津の進水式を舉行す、皇太子嘉仁親王之に御臨場あり○京都市新京極大火あり、名利銷藥師、朝日座等五十七戸焼く

三月卅一日 九州帝國大學官制を公布す○朝鮮軍人令を發布さる○議院建築準備委員會官制を廢止す○神奈川縣鶴見村大火あり、百三十五戸焼く原因は汽車の煤煙なり○能樂家觀世鐵之丞歿す年六十九

三月 中 京都帝國大學分科を法、醫、文、理、工科と爲す

九州帝國大學官制公布

東京市施療院成る
工場法公布
攝津進水式

所澤飛行場成る

四月 一日 鐵道荷物速達法を實施す○大分縣大分町に市制を施行す○佐世保に於て巡洋艦筑摩の進水式を行ふ、皇太子嘉仁親王之に御臨場あり○山川健次郎を九州帝國大學總長と爲す○遣英艦隊鞍馬、利根の二艦、横須賀を發して英國に向ふ○北米飛行家マース、目黒競馬場に於て飛行機の飛揚を試む○秋田鑛山専門學校を開校す

四月 二日 畫家永井秀圃歿す年七十三

四月 三日 日英通商航海條約の調印成る○東京日本橋の開通式を行ふ○新設埼玉縣所澤飛行場に於て陸軍飛行演習を開始す

四月 四日 日米通商航海條約を公布す

四月 五日 所澤飛行場に於て日野大尉、十七キロメートルを飛行し、我國新記録を作る

四月 六日 日英通商航海條約を公布す○廣軌鐵道調査委員會官制を公布す○栃木縣矢板町大火あり、二百七十四戸焼く○九州鐵道の列車、長興驛に於て脱線顛覆し、重輕傷者四十五名を出す

四月 七日 廣告物取締法を公布す○宮城縣高城町大火あり、二百八十戸焼く

四月 八日 南滿洲鐵道線路保護及び取締警察官設置を各公布す

四月 九日 東京淺草新吉原より出火し、六千五百五十五戸を焼く○芝増上寺に於て淨土宗祖七百年忌法要を執行す○所澤飛行場に於て、日野大尉四十哩を飛行し空中に安定して急轉直下の放業を演ず○鑑定家桑島光品歿す年七十二

廣告取締法公布
淺草大火

明治天皇——明治四十四年

依仁親王渡英

四月十一日 牛疫血清製造所官制を公布す○淺草罹災者に救恤金一萬圓を賜ふ

四月十二日 御名代東伏見宮依仁親王、英國皇帝戴冠式參列の爲め東京御出發あり、陸軍大將乃木希典、海軍大將東郷平八郎等、之に隨行す○朝鮮狩獵規則を定む

四月十三日 本門寺貫主僧日龜寂す年七十一

四月十五日 司法省官制を改正し、從來の民刑局を民事、刑事の兩局に分離獨立す

四月十六日 皇后沼津より還啓あり

朝鮮土地收用令公布

四月十七日 朝鮮土地收用令を公布す○警視廳の新築成る○海軍少將齋藤孝至を中將と爲す

○政友會近畿大會を大津に開く

四月十八日 京都本願寺、大遠忌法要を開始す、雑踏の爲め重輕傷者百餘名を出す○畫家久保田桃水歿す年七十一

四月十九日 獨逸特命全權大使レックス參内して信任狀を捧呈す○慶應野球選手、東京出發渡米の途に就く

四月二十日 日英水力電氣株式會社を東京に設立す

四月廿一日 侯爵徳大寺實則、桂太郎に公爵を、伯爵小村壽太郎に侯爵を、子爵渡邊千秋、寺内正毅に伯爵を授けらる

四月廿三日 新潟縣糸魚川町大火あり、約六百戸焼く○鹿兒島縣徳之島大火あり、二百五十餘戸を焼く○俳優市川團童歿す年三十九

四月廿四日 鳥取縣若櫻町大火あり、百六十戸焼く

四月廿五日 關東都督府、外國留學生規程を公布す

四月廿七日 奧國皇甥ワリーヒテンスタイン、參内謁見す

四月廿八日 北陸線正田驛構内に於て、貨車、列車と衝突し死傷者十名を出す○北海道長官河島醇歿す年六十四憲法及行政法要義

四月三十日 子爵酒井忠匡卒す年五十五

五月一日 名古屋市鶴舞公園に於て中央線全通式を行ふ○東京鐵道病院を開設す

五月二日 奈良大佛殿の上棟式を行ふ○詩人川口東洲歿す年七十三有眞樸文集、運筆順序

五月三日 改正商法を公布す○中央線列車、宮ノ越驛に於て脱線顛覆し、死傷者三十餘名を出す○北海道北見國紋別郡澤木村の森林より發火し、大山火事始まる○青森縣三戸郡淺田村大火あり、百戸焼く

五月 四日 柴田家門を拓殖局總裁と爲す○英國皇族レオポルド・オブ・バツテンベルグ來朝す

五月 五日 千葉縣廳成る○太刀山峰右衛門、横綱と爲る

五月 六日 小笠原武英、丹羽龍之助を宮中顧問官と爲す

五月 八日 山形市大火あり、一千三百二十戸取く○東京大平洋協會を創設す○淺間山大爆發し、死傷者を生ず、大鳴動は東京まで聞ゆ○清國皇帝上諭を以て新内閣官制を宣旨し、慶親王を内閣總理大臣と爲し、軍機所、政務會議所を廢止す

五月 九日 皇后、日比谷公園に行啓あり、愛國婦人總會に臨み給ふ○恩賜財團濟生會を創

濟生會創設

山形大火

改正商法公布

中央線全通

維新史料編纂會官制公布

五月 十日 設す○子爵堀田正養逝去年六十四
維新史料編纂會官制を公布し、井上馨を總裁に、山縣有朋、松方正義、田中光顯、東久世通禧、大山巖、土方久之、板垣退助を顧問と爲す○文部省に圖書局を新設す

五月十一日 原蠶種製造所官制を公布す○貴族院議員山田爲暄逝去年六十九○僧高城義海寂す年七十四○考古學者平子鐸嶺歿す年三十五 佛敎藝術の研究、百萬小部並附圖、

五月十二日 臺灣總督府港務所官制を公布す○撫順炭坑の境界租金救済金等に關する日清兩國の懸案解決す

谷干城薨す

五月十三日 子爵谷干城薨す年七十五

五月十四日 三絃家二代清元梅吉歿す年五十八

五月十五日 日本・西班牙通商航海條約の調印成る○長崎縣廳の開廳式を行ふ○石原健三を北海道廳長官と爲す○東京、日本傷害保險株式會社を設立す

五月十六日 天皇 陸軍經理學校に行幸あり○明治政界の名物男遠藤秀景歿す年五十九

小樽大火

五月十七日 文部省文藝委員會官制、通俗教育調査委員會官制を各公布す○北海道小樽大火あり、一千二百五十一戸を焼失す

五月十八日 皇后、東京御發駕あり、伊勢參宮の途に就かせ給ふ

五月十九日 日本・瑞典通商航海條約の調印成る

五月二十日 皇后、伊勢外宮に御參詣あり○日佛兩國の清國に於ける發明意匠其他相互保護

北海道大山火事

に關する條約を公布す○福島縣坂下町大火あり、三百十八戸を焼く

五月廿一日 皇后、伊勢内宮に御參拜あり○全國株式取引所の直取引を禁止す

五月廿二日 去る三日以來の北海道大山火事漸く鎮火す、被害區域は一區四十七町村に亘り、焼失戸數三千三百二十四戸、損害三百四十八萬圓餘、國有林燒失面積二十六萬千八百二十六町餘、其損害九十三萬四千圓餘に達す○官吏丸山重俊歿す年五十七

五月廿三日 皇后 還啓あり

五月廿五日 海軍大將伊東祐享を海軍特命檢閱使と爲す○山形縣新庄町大火あり、百四十六戸焼く○外交官萩原守一逝去年四十五

五月廿六日 政治家西山志澄歿す年七十

五月廿七日 皇族服裝令、宮内官制服令を各公布す

五月廿九日 朝鮮人辯護士試験規則を定む

五月三十日 男爵安藤直雄、貴族院議員に當選す

忠隈炭坑爆發

六月 一日 日露兩國逃亡犯人引渡條約の調印成る○故松平昭訓以下四十五名に贈位さる○高橋是清を日本銀行總裁と爲す○福岡縣嘉穂郡忠隈炭坑の瓦斯爆發し、即死七十三名を出す

六月 二日 爆發物貯庫規程を定む○波多野敬直を東宮太夫と爲す○米國亞細亞艦隊司令長官海軍少將ジョセフ・ビー・マアードック、參内して見謁す○遠藤喜右衛門、

貴族院議員に當選す

六月三日 朝鮮總督府、寺利令、同漁業令を各公布す

六月四日 國學院大學に於て國語學會の發會式を行ふ○横濱米國海軍病院内に於て米艦アルバニア號乗組水兵の殺人事件起り、國際問題と爲る

六月五日 皇后、日比谷公園に行啓あり、赤十字社總會に臨み給ふ○海軍少將坂本一、伊地知季珍を中將に、桑原莊吉を同軍醫總監と爲す○井上勝之助を貴族院議員と爲す

青森縣下に降電

六月七日 皇后、東京慈惠病院に行啓あり○青森縣下に降電あり、積むる事三尺餘に及び二百餘年來未曾有の事にして慘狀を極む

六月九日 五十嵐敬止(千葉)補缺衆議院議員に當選す○所澤に於て飛行機墜落し徳川大尉、伊藤中尉、輕傷を負ふ

六月十日 皇后、靖國神社能樂堂に行啓あり○大阪高等商業學校の新築成る

南朝を吉野朝と改む

六月十一日 仁川築港の起式を行ふ

六月十二日 教科書調査委員歴史部會に於て、南朝を改め、吉野朝と稱するに決定す○南極探検隊開南丸船長野村直吉、神戸に歸着す

六月十三日 皇后、上野公園の東京彫工會に行啓あり○燒ヶ嶽大噴火す○陸軍大將大久保春野以下の朝鮮合併に關する論功行賞を發表す

大島圭介薨す

六月十四日 文藝委員會規則を定む○群馬縣下に降電落電あり、即死三名、負傷數名を生ず

東京今古沿革圖識、築城典義、獄中日記、幕末實戰史、砲科新論、山油編、長城遊記

六月十五日 琉球大島附近の海中を中心として大地震あり○子爵大島圭介薨す年七十九 武藏國並

六月十六日 日本・諾威通商航海條約に調印す○能樂家觀世清之歿す年六十三 能役者系圖

六月十七日 東京、日本燐礦株式會社を設立す

六月十九日 改正森林法を公布す○東京地方に大颶風襲來す

六月二十日 朝鮮總督府、森林令を公布す

六月廿二日 倫敦ウエストミンスター寺院に於て英國皇帝戴冠式を行ふ

六月廿三日 日露兩國間の商標保護條約及び商事會社互認に關する協約の調印成る○能樂家一噌銑二歿す年二十九○僧武田範之寂年四十七 南山松譜、隆熙改元歌、紫海均玄正續、關宗六論論、關宗六論論録附録、沅濟經

六月廿四日 日獨通商航海條約の調印成る

六月廿五日 大日本私立衛生會の新築成る

六月廿七日 東京芝増上寺を京都總本山智恩院に合併す

六月廿九日 日露協約を公布す○神戸に於て巡洋艦平戸の進水式を行ふ○政治家内藤魯一歿す

六月三十日 露國觀光團七十九人、東京に來朝す

七月一日 横濱市役所の開廳式を行ふ

七月三日 東京市の電車市營交渉成立す○僧尾形陽宜寂す年五十三

七月四日 東京市參事會に於て電車市營假契約締結を議決す

七月 五日 帝國學士院に於て緯度觀測上の功績に依り、始て理學博士木村榮に恩賜賞牌を授く

七月 六日 相模藤澤町の名利遊行寺炎上す

遊行寺燒く
臘肭獸保護
條約成る

七月 七日 日本・加奈陀修交通商條約を廢す○日、英、米、露間臘肭獸保護條約の調印成る○東京、千代田瓦斯株式會社を開業す○東京神田錦輝館に於て電車市有反對市民大會を開く○政治家池田藤八郎歿す年五十

七月 八日 岩佐純を宮中顧問官と爲す○日比谷公園に於て第二回電車市有反對屋外市民大會を開く

電車市有決定

七月 九日 東京市會に於て電車市有を決定す(買收價格六千四百五十八萬四千八百五十四圓なり)

七月 十日 伯子男三爵議員の改選を行ふ○(伯爵)松浦厚、寺島誠一郎、柳澤保惠、柳原義光、奥平昌恭、松平直之、徳川達孝、川村鐵太郎、萬里小路通房、吉井幸藏、大原重朝、正親町實正、島津忠磨、清棲實教、後藤猛太郎、兒玉秀雄、清閑寺經房、(子爵)青山幸宜、三島彌太郎、岡部長職、松平康民、松平親信、井上匡四郎、加納久宜、橋本武憲、前田利定、水野直、曾我祐準、堤功長、鳥居忠文、山口弘達、入江爲守、牧野忠篤、仙石政固、唐橋在正、伊東祐弘、鍋島直彬、松平乘承、東坊城徳長、青木信光、伏原宣足、舟橋遂賢、毛利元忠、豊岡圭資、西大路吉光、京極高德、永井尙敏、堀河護磨、井伊直安、新莊直陳、松平直平、

帝大行幸

七月十一日 天皇、東京帝國大學に行幸あり○常盤津駒太夫歿す年六十二
七月十二日 日本・瑞典通商航海條約を公布す
七月十三日 日英同盟協約改訂の調印成る

日英同盟協約改訂公布

七月十四日 關稅定率法を改正公布す
七月十五日 日英同盟協約改訂を公布す○日獨通商航海條約、日本・諾威通商航海條約を各公布す○石川縣選出多額議員大家七平外數名、贈賄問題にて拘引さる○西洋建築家長郷泰輔歿す年六十三

觀世清廉歿す

七月十七日 關東都督大島義昌を歐米各國に差遣せらる○能樂家觀世清廉歿す年四十五觀世小齋

七月十八日 殖産獎勵の爲め、金二萬圓を大日本産業組合に賜ふ○群馬縣下水上村にて崖崩の爲め、工夫三十六名壓死す○三谷軌秀(大阪) 補缺衆議院議員に當選す

七月二十日 德壽宮李太王妃嚴氏薨す年五十六

尋常歴史教科書修正

七月廿一日 李王世子、東京御出發、渡鮮の途に着かせらる○鳥羽、山田間の鐵道成る○將京、八王子瓦斯株式會社を設立す○文部省に於て教科書調査委員總會を開き、南北朝事項を附議し、南朝を吉野の朝廷と爲し、光明天皇擁立に關しては「尊氏は賊名を避けんが爲めに、豐仁親王を擁立して天皇と稱せり、之を光明天皇とす」と記載するに決し、又尊氏等の任官に關しては命を正統の朝廷に受けざる事の意味を一見明瞭に記載すべき事、尊氏、義詮の死は薨と記せず、死と書く事等を決定し、尋常科歴史教科書全部の修正を了る

七月廿二日 製鐵所官制を改正公布す
七月廿三日 李王世子、京城に到著あり

中央電話局設置

七月廿四日 朝鮮銀行法施行を公布す○小池靖一(石川) 補缺衆議院議員に當選す
七月廿五日 建築中の九州帝國大學火災あり
七月廿六日 東京中央電話局を設置す○關東各地に大颶風あり東京深川、洲崎に海嘯起り、家屋倒壞四百四十四戸、死者行方不明四十七名、神奈川縣下の流失家屋八十九戸、全潰四百六十四名、死者四十一名、行方不明十七名に達す

關東大颶風

七月廿八日 外務省取調課を取調局と改む○日本大博覽會事務局官制を改正し、事務總長を廢す

七月廿九日 東京市内電車衝突して重輕傷者三十二名を出す
七月三十日 僧稻葉覺道寂す年七十九

高等中學校令公布

七月卅一日 高等中學校令を公布し、高等學校を高等中學校と改む○内務省は東京市の東京鐵道株式會社より電車買収するを許可す○高濱與七(愛知) 補缺衆議院議員に當選す

東京市電氣局を開設

八月 一日 原蠶種製造所處務規程を定む○東京市電氣局を開設し、松本幹一郎を局長と爲す
八月 二日 政治家岩崎萬次郎歿す年六十
八月 六日 笹治元(群馬) 補缺衆議院議員に當選す
八月 八日 長野縣北安曇郡南小谷村字石坂に於て山林原野崩潰して二十二名慘死す○儒者太田北山歿す年八十五

相場暴騰

織田得能寂す

八月 九日 齋藤三郎右衛門（山形）補缺衆議院議員に當選す
 八月 十日 相場日々に暴騰し、買占亦盛んに行はるゝを以て、東京米穀取引所に定期米取引中止を嚴命す○政友會東北大會を盛岡に開く
 八月 十一日 洋風室内裝飾の鼻祖小林義雄歿す年五十八
 八月 十二日 政治家沼田宇源太歿す年五十二
 八月 十四日 日露鐵道及び汽船貨物直通運輸協約を締結す○濱尾新を樞密顧問官と爲す○宮中顧問官小笠原武英歿す年六十七
 八月 十五日 淺間山大爆發し、外人一名、日本人二名即死す
 八月 十六日 暴風雨あり、海嘯の爲め東京洲崎遊廓の家屋崩壊死傷者を出す
 八月 十七日 大阪俳優養成所を設立す○高野山護摩堂燒失す
 八月 十八日 皇太子嘉仁親王、北地拓殖の狀況御視察の爲め、東京御出發あり○陸軍中將上田有澤を朝鮮駐劄軍司令官と爲す○僧織田得能寂す年五十二佛敎大意、八宗綱要講義、和漢佛敎大辭典、佛語解
 八月 十九日 日佛通商關係暫定協約に調印す釋、法華經高僧傳、佛敎金言集、七十五法名目講義、佛敎文學講義、天臺四敎義和解、大乘起信論義記講義、
 八月 二十日 皇太子嘉仁親王、函館に御上陸あり
 八月 廿一日 伏見宮貞愛親王を恩賜財團濟生會總裁に、桂太郎を同會長に、平田東助を副會長に、山縣有朋等九名を顧問と爲す○遣英御名代東伏見宮依仁親王 神戸に御到著あり○東京瓦斯株式會社、千代田瓦斯會社と合併す○暴風の爲め房總東沿

樺太神社成る

朝鮮教育令公布

桂内閣繼辭職

臺灣大暴風

第二次西園寺内閣成る

八月 廿二日 岸に於て漁夫二十二名溺死、六十四名、行衛不明と爲る○外交官大山綱介歿す年六十九
 樺太神社の鎮座式を執行す○東京、株式會社安田銀行を設置す○子爵平松時厚 歿す年六十七
 八月 廿四日 朝鮮教育令を公布す○男爵平田東助、大浦兼武、珍田捨巳、内田康哉に子爵を加藤高明、石井菊次郎に男爵を授く○和田彦次郎、有松英義、仲小路廉、押川則吉、若槻禮次郎、龜井英三郎、坂本鈺之助、深野一三、木内重四郎、徳富猪一郎を貴族院議員と爲す
 八月 廿五日 内閣總理大臣桂太郎、參内して總辭表を捧呈す○三井八郎次郎、藤田傳三郎、鴻池善右衛門、住友吉左衛門、近藤廉平に男爵を授く○陸軍中將大藏平三逝去年六十
 八月 廿六日 日佛通商航海條約を公布す○土佐幡多郡叶崎燈臺成る
 八月 廿七日 政友會總裁西園寺公望を召し、新内閣組織を命ぜらる○臺灣東吉嶼燈臺成る○臺灣に大暴風あり、(臺北廳) 家屋全潰二千二百八十戸、流失八十九戸、溺死六十名、(桃園廳) 家屋全潰八百二十戸に達す
 八月 廿八日 陸軍少將今村信敬を中將と爲す○陸軍大將乃木希典、歐洲より東京に歸著す
 八月 廿九日 日露兩國間犯人引渡條約の調印成る○儒者内藤泰吉歿す年八十四
 八月 三十日 西園寺公望を内閣總理大臣に原敬を内務大臣に、内田康哉を外務大臣に、山本

達雄を大藏大臣に、牧野伸顯を農商務大臣に、長谷場純孝を文部大臣に、林董を逓信大臣に、松田正久を司法大臣に、石本新六を陸軍大臣と爲す、海軍大臣齋藤實留任す○南弘を内閣書記官長と爲す

八月卅一日 内務大臣原敬に鐵道院總裁を兼しめ、元田肇を拓殖局總裁に、岡野敬次郎を法制局長官と爲す

朝鮮銀行

九月 一日 新潟縣高田町に市制を施行す○韓國銀行を朝鮮銀行と改稱す○小松謙次郎を逓信次官に、福原鏞次郎を文部次官に、岡市之助を陸軍次官と爲す

九月 四日 床次竹二郎を内務次官に、安樂兼道を警視總監と爲す

九月 六日 陸軍大將大島久直を軍事參議官に、陸軍中將鮫島重雄を大將に、同淺田信興を教育總監に、同載仁親王を近衛師團長に、同木越安綱を第一師團長に、同上原勇作を第十四師團長に、同一戸兵衛を第四師團長に、同仙波太郎を第十七師團長に、同梅澤道治を第六師團長に、同林太一郎を第七師團長と爲す○陸軍少將梅澤道治、林太一郎、南部辰内、須永武儀、隈元政次、摺澤靜夫、香川富太郎、恒吉宏道、太田盛徳を中將と爲す○衆議院議長長谷場純孝罷む○平沼騏一郎を司法次官と爲す○男爵片倉景光逝去年五十四○下瀬火薬の發明者下瀬雅允卒す年五十三

下瀬雅允歿す

九月 七日 橋本圭一郎を大藏次官と爲す

九月 八日 東京、安田商業株式會社を設立す

九月 九日 朝鮮貴族同族會を創立し、朴泳孝を會長と爲す

九月十二日 清國亡命者康有爲、東京に来る○俳優市川團藏歿す年七十六

九月十三日 葡萄牙政府を承認す○法相松田正久を法律取調會長と爲す○關東都督大島義昌渡歐の途に上る

九月十四日 皇太子嘉仁親王、北海道より還啓あり

九月十五日 故最上徳内に正五位、近藤重藏、高田屋嘉兵衛に従六位を追贈さる○海軍大將東郷平八郎、米國より歸朝す

九月十六日 日露逃亡犯人引渡條約を公布す○海軍大將東郷平八郎、參内して歐米巡遊中の狀況を奏上す○畫家菱田春草歿す年三十八

菱田春草歿す

九月十七日 逓信次官小松謙次郎、強盜に斬られて重傷す

九月十八日 東京神田錦輝館に於て全國鍼灸按摩聯合大會を開く

九月十九日 海南島沖に於て汽船神州丸、沈没して船員五十名、行方不明と爲る○醫學者山川幸喜歿す年七十八

九月二十日 東京、日本徵兵保險株式會社を設立す

九月廿一日 全國府縣會議員の改選を行ふ○東京、明治學院燒失す○鹿兒島縣下大暴風あり死者六十七名、全潰家屋三千九百四十八戸に達す○日本醫學界の恩人米國人ジ

エームス・カーチス・ヘボン博士歿す年九十六

九月廿二日 市町村制施行細則を公布す

日本徵兵保險會社設立

九月廿三日 男爵沖原光孚、貴族院議員に當選す

九月廿六日 朝鮮總督府看守制服を公布す

九月廿七日 皇后、上野公園に行啓あり、鑄金彫工會を觀給ふ○小松遞信次官斬の強盜犯人藤井喜代三捕縛さる

臨濟宗大學

九月廿八日 京都府、私立花園學院高等科を私立臨濟宗大學と改稱す

九月廿九日 伊太利は土耳其に對し宣戰を布告す

九月三十日 中學野球優勝試合規定成る○伊太利、土耳其戰役起る

九月 中 書家香川松石歿す尋常國語習字帖五册、尋常習字帖、實驗國語習字帖、三體千字文、修正小學習字帖、高等國語習字帖、尋常小學書き方手本等

十月 二日 蠶絲業法施行規則を定む

大谷大學創設

十月 三日 大谷大學を創設す○長崎に於て巡洋艦矢矧の進水式を行ふ○政治家鳩山和夫歿す年五十六

十月 四日 子爵土岐頼知歿す年六十三

十月 五日 仙臺、仙北輕便鐵道株式會社を設立す○海軍造兵總監前田享逝去年七十一

十月 十日 朝鮮の暴風雨罹災民に救恤金五千七百圓を賜ふ○清國武昌に於て革命黨の大動亂起る○水彩畫家大下藤次郎歿す年四十二水彩畫階段、寫生畫の研究、水彩畫の癡、水彩學生旅行、

大下藤次郎歿す

十月十一日 米國スタンフォード大學總長ジョルダン博士、東京出發歸途に就く○清國革命黨は黎元洪を推して大都督と爲す

十月十二日 岩手輕便鐵道株式會社を設立す○清廷、陸軍大臣蔭昌に南方討伐を命ず○革命

黨漢口及び四川省叙州を占領す

十月十三日 革命黨首領黎元洪、廣東を占領して獨立を宣言す

十月十四日 明治大學の新築落成す○北京政府は袁世凱を湖廣總督に、岑春煊を四川總督と爲し、騷亂鎮定を命ず

十月十六日 臺灣總督府官制を改正公布す

十月十八日 北京政府軍、革命軍と戰爭を開始す

十月二十日 革命軍は官軍を撃破し、江岸停車場を占領す

十月廿一日 東京府下目黒火藥製造所の火藥爆發し、即死十三名、重傷者九名を出す

十月廿二日 所澤飛行場に於て飛行機墜落大破す○革命軍、宜昌及び長沙を占領す

十月廿三日 大阪、日清火災海上保險株式會社を設立す

十月廿四日 皇后、芝離宮に行啓あり、管絃樂を聴き給ふ○陸軍大將奧保鞏に元帥の稱號を賜ふ

十月廿五日 革命軍、陝西省西安を占領す○片山潛等、社會黨を組織す、直ちに解散を命ぜらる

十月廿六日 陸軍補充令を公布す○清國政府は頻りに大官の賞罰を行ひ、以て民心に迎合せん事に努む、各地益々暴動蔓延の兆あり○花王石鹼の創始者長瀬富郎歿す年四十九

十月廿七日 天皇、陸軍騎兵實施學校に行幸あり

陸軍補充令公布

十月廿七日 天皇、陸軍騎兵實施學校に行幸あり

十月廿七日 天皇、陸軍騎兵實施學校に行幸あり

日獨協會成る

十月廿八日 子爵加藤泰秋、貴族院議員に當選す○小島一雄(東京)補缺衆議院議員に當選す○清國政府、更に袁世凱を欽差征討大臣と爲し、陸海軍を總統せしむ
十月廿九日 奉天第二十師長張紹曹は國會開設、憲法制定、責任内閣組織等の實施を要請し兵を率ゐて北京に迫る○實業家横山孫一郎歿す年六十四
十月三十日 桂太郎等發起にて日獨協會を創立す○清國皇帝、遂に張紹曹等の要請を許し大改革の上諭を發す、是れより支那は革命黨を政治の一派と認め、叛徒と目す可き者なきに至る

十月卅一日 海軍大將井上良馨に元帥の稱號を賜ふ○智利特命全權大使サニヤルツ參内して信任狀を捧呈す○革命黨、湖南省全部を占領す

朝鮮人姓名改稱の件

十一月 一日 車駕、福岡縣行幸仰出さる○朝鮮安奉線の開通式を行ふ○清國皇帝、慶親王以下現内閣員を總て罷免し、袁世凱を内閣總理大臣と爲す○朝鮮人姓名改稱の件を定む

十一月 二日 上海に於て我驅逐艦初霜は革命軍に砲撃さる○日清國境列車直通運轉協約に調印す

十一月 三日 天皇、青山練兵場に行幸あり、大觀兵式を舉行し給ふ○武昌に於て革命黨は黃興を中華民國大都統に推戴す○革命軍上海を占領す○袁世凱、書を黎元洪に致し和を議す

星製藥會社設立

十一月 四日 東京、星製藥株式會社を設立す○落語家四代柳亭左樂歿す年五十六

國稅徵收令公布

十一月 五日 神奈川縣鶴見總持寺に於て遷祖式を行ふ○東京上野公園に於て開催中の文展にて不平畫家岡本清彦の爲め、審査員寺崎廣業外五名の日本畫墨汁にて塗抹さる
十一月 六日 革命軍は鎮江、厦門、及び崑山縣を占領す○醫學者桂秀馬歿す年四十八外科總論、外科手術

十一月 七日 天皇、九州特別大演習御統監の爲め、東京發輦あり○國稅徵收令を公布○海軍主計總監奈良眞志歿す年六十六

十一月 八日 天皇、姫路に着輦あり

十一月 九日 富山縣八尾町大火あり、百二十三戸焼く

十一月 十日 天皇、久留米に着輦あり○來る十二月廿三日を以て帝國議會召集の詔勅を公布す

川上音次郎歿す

十二月 十一日 天皇、羽犬塚驛に幸し、岡山村にて大演習を御統監あり○俳優川上音次郎歿す年四十八

柏崎大火

十一月 十二日 伏見宮博恭王、暹羅皇帝戴冠式參列の爲め、東京を御出發あり○奉天、獨立を宣言す

十一月 十三日 新潟縣柏崎町大火あり五百二戸焼く

十一月 十四日 福島縣三春町大火あり、約四百戸焼く○東京下谷三ノ輪町大火あり、百八戸焼く

十一月 十五日 日清兩國々境列車直通運轉協約を公布す○皇后、赤坂離宮に行啓あり、觀菊御

谷森善臣歿す

十一月十六日 會に臨み給ふ○故菊池武敏以下五十二名に贈位あり
天皇、久留米發輦あり○私立東京高等農學校を私立東京農科大學と改稱す○催
眠術師小野福平歿す年四十四○國學者谷森善臣歿す年九十五南山小譜、柏原山陵考、關
釜のしづ、嵯峨野の露

十一月十八日 政治家中西新作歿す年七十二
天皇、東京に還幸あらせらる○日本南極探險隊白瀬中尉等、再び濠洲シドニー
を出發し極地に向ふ

十一月二十日 實業家佐久間福太郎歿す年四十二
種蠶審査會規則を公布す○杉村虎一を特命全權大使と爲し獨逸に、特命全權大
使珍田捨巳を米國に駐劄せしむ○米國特命全權大使チャールス・エーチプライ
アン、參内して信任狀を捧呈す

十一月廿三日 長岡沖に於て驅逐艦春雨、暗礁に觸れて沈没し、乗員四十四名、行方不明と爲
る

十一月廿四日 東京、東邦火災保險株式會社を設立す○子爵錦小路在明逝去年四十三

十一月廿五日 砲兵工廠服務規程を定む

十一月廿六日 帝國政府は北京居留民保護の爲め、出兵を聲明す○侯爵小村壽太郎薨す年五十
七○清國皇帝、憲法信條制定の宣誓式を行ふ

十一月廿七日 天皇、陸軍砲工學校に行幸あり○東京市長尾崎行雄、瓦斯合併反對者村山定惠
等に毆打せられ負傷す○北京軍廢昌、漢陽を回復す

小村壽太郎
薨す

對支出兵

十一月廿八日 名古屋第三師團より歩兵約七百五十人を清國に派遣す○東京、株式會社大倉組
を設立す

十一月廿九日 天皇、陸軍大學校に行幸あり

十一月 中 朝鮮人尹致昊等百二十三名、寺内總督の暗殺を謀りて遂に捕へらる

十二月 一日 海軍大將片岡七郎、上村彦之丞を軍事參議官に、同中將出羽重遠を第一艦隊司
令長官に、同島村速雄を佐世保鎮守府司令長官に、同吉松茂太郎を第二艦隊司
令長官と爲す○海軍少將野元綱明、八代六郎、宮岡直記を中將と爲す○東京市
會に於て瓦斯合併案を可決す○瓦斯合併反對東京市民大會を神田錦輝館に開く

十二月 二日 革命軍、南京の守將張勳を追ひ之を占領す

十二月 三日 淺間山大爆發す○清國武昌に於て革命黨各省會議を開き、中華民國臨時組織大
綱を決定す

十二月 四日 北京軍、革命軍と休戰條約を締結す

十二月 五日 革命軍は中央政府を南京に置き、黃興を大元帥に、黎元洪を副元帥と爲す

十二月 六日 清國皇帝、攝政醇親王を廢し、内閣總理大臣袁世凱、北京政府の全權を握る

十二月 八日 臨時制度整理局官制を捧布す

十二月 九日 東京深川洲崎に黒焦屍體事件起る○袁世凱、黎元洪と停戰講和條約を締結す

十二月十一日 陸軍軍人服役令を公布す○衆議院議員選舉法改正調査會官制を公布す

陸軍軍人服
役令公布

日本電燈會
社設立

海獸禁獵令公布

十二月十三日 實業家田村利七歿す年六十四

十二月十四日 諾威探險家キヤブテン・アムンゼン南極に到着す

十二月十五日 海獸禁獵令、臘臘獸保護條約を各公布す○儒醫緒方拙齋歿す年七十八仁山壽海録、南嶽遺稿

十二月十六日 東京、三井鑛山株式會社を設立す○清國革命軍、南京に假政府を創設す

十二月十八日 清國上海英租界市公會堂に於て革命黨代表伍廷芳、北京政府代表唐紹儀と南北

妥協第一回講和會議を開く○英國探險家スコット大佐、南極に達す

十二月十九日 日、英、米、佛、露、獨六國より共同調停の覺書を提出し、清國政府に向つて

平出鏗二郎歿す

平和克服の希望を表明す○歴史家平出鏗二郎歿す年四十三誦加流神道統略系圖、鎌倉時代名人忌辰録、室町時代小説

十二月二十日 舞鶴に於て驅逐艦櫻の進水式を行ふ○伊豆伊東町大火あり、百八十戸焼く

十二月廿一日 日瑞間居住通商條約を公布す○大阪、豊國火災保險株式會社を設立す○寺井純

司(青森) 補缺衆議院議員に當選す

十二月廿二日 帝國政府は清國に第二次出兵を聲明す○伯爵新團體成る辛亥俱樂部と稱す○政

治家古澤滋歿す年六十五君主及統治の構説

十二月廿三日 第廿八回帝國議會を召集す○高橋義信(岐阜) 補缺衆議院議員に當選す○志士

頭山滿、東京を出發し渡清の途に上る

十二月廿四日 元老大臣會議を開き、清國事變に關し非干渉に決定す○大岡育造を衆議院議長

と爲す

對支不干渉に決定

第二次出兵

十二月廿五日 花房義質を樞密顧問官と爲す○孫文、英國より上海に歸着す

十二月廿七日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○東京瓦斯會社臨時總會を開き、

千代田瓦斯會社と合併の件を可決す○志村源太郎を日本勸業銀行總裁と爲す

十二月廿八日 華族戒飾令を公布す○遣還御名代伏見宮博恭王、歸朝あり○二條基弘、貴族院

全院委員長に、戸水寛人、衆議院全院委員長に當選す○實業家岸本豊太郎歿す

年五十二○清國總理大臣袁世凱、遂に國民議會に依り問題を解決するの外に方

法なき旨を上奏す

十二月廿九日 朝鮮總督府、國稅徵收令施行規則を定む○清國南京に於て臨時中華民國共和大

總統の選舉を行ひ、孫文、當選す

十二月三十日 東京、東洋火災保險株式會社を設立す

十二月卅一日 東京市内電車従業員六千餘人の大同盟罷業起る

明治四十五年 壬子 皇紀二五七二年 西曆一九一二年

正月 一日 東京市内電車同盟罷業解決す○伯爵東久世通禧歿す年八十竹亭回顧録維新前後三條實美公履歷 ○支

那南京に於て孫文の中華民國大總統就任式を舉行す

正月 三日 山口縣厚狹郡宇部村沖ノ山炭坑に火災起り、十一名焼死す○海軍中將伊地知彦

次郎逝去年五十五

正月 五日 男爵岩佐純年七十八

正月 六日 行司木村庄之助歿す年六十四

華族戒飾令公布

十二月廿五日 花房義質を樞密顧問官と爲す○孫文、英國より上海に歸着す

十二月廿七日 天皇、親臨して帝國議會の開院式を行ひ給ふ○東京瓦斯會社臨時總會を開き、

千代田瓦斯會社と合併の件を可決す○志村源太郎を日本勸業銀行總裁と爲す

十二月廿八日 華族戒飾令を公布す○遣還御名代伏見宮博恭王、歸朝あり○二條基弘、貴族院

全院委員長に、戸水寛人、衆議院全院委員長に當選す○實業家岸本豊太郎歿す

年五十二○清國總理大臣袁世凱、遂に國民議會に依り問題を解決するの外に方

法なき旨を上奏す

十二月廿九日 朝鮮總督府、國稅徵收令施行規則を定む○清國南京に於て臨時中華民國共和大

總統の選舉を行ひ、孫文、當選す

十二月三十日 東京、東洋火災保險株式會社を設立す

十二月卅一日 東京市内電車従業員六千餘人の大同盟罷業起る

明治四十五年 壬子 皇紀二五七二年 西曆一九一二年

正月 一日 東京市内電車同盟罷業解決す○伯爵東久世通禧歿す年八十竹亭回顧録維新前後三條實美公履歷 ○支

那南京に於て孫文の中華民國大總統就任式を舉行す

正月 三日 山口縣厚狹郡宇部村沖ノ山炭坑に火災起り、十一名焼死す○海軍中將伊地知彦

次郎逝去年五十五

正月 五日 男爵岩佐純年七十八

正月 六日 行司木村庄之助歿す年六十四

正月 八日 頭山滿、犬養毅、南京に到着して、孫文、黃興と正式會見を行ふ
正月 九日 芳川顯正を樞密院議長に、周布公平を樞密顧問官と爲す○銀行家戸次吉歿す
年五十六

正月十一日 宣教師フランソワボンヌ寂す年五十六

正月十三日 第二回萬國平和會議に於て決定せる國際紛争平和處理條約外十一件を公布さる
正月十四日 京濱間を往復する東京組合石炭回漕船頭千五百名は運賃の事より同盟罷業を開始す

始す

正月十五日 長門豊浦郡特牛燈臺成る○電車同盟罷業煽動の社會主義者片山潜、拘引さる○
陸軍中將塚本勝嘉逝去去年六十五

正月十六日

維新史料編纂委員を任命す○大阪市大火あり、五千三百三十戸焼く○南極探險
隊白瀬中尉一行ウエールズ灣に到着す

正月十七日

皇后、沼津に行啓り○參謀總長奥保鞏、辭表を上る○清國皇帝退位の御前會議を開く

正月十八日

長崎縣、佐世保瓦斯株式會社を設立す

正月二十日

陸軍大將長谷川好道を參謀總長と爲す○政友會大會を開き宣言書を公表す

正月廿二日

陸軍葬喪令を公布す○特命全權公使内田定槌を瑞典に駐劄せしめ、諾威を兼し
む○京城に於て朝鮮貴族會の發會式を行ふ

正月廿三日

宮中歌御會始めを行はせらる、勅題「松上鶴」なり○大阪罹災民に救恤金七千

大阪大火

陸軍葬喪令公布

圓を賜ふ○(衆)首相西園寺公望、施政方針を演説す○清國皇帝、再び御前會議
を開く、各軍統制、統領等、公電して共和政體を立てん事を要請す

正月廿四日

岩鼻陸軍火藥庫の火藥爆發し、即死三名を出す○男爵諫早家崇逝去去年五十九

正月廿六日

臺灣私設軌道規程を定む

正月廿七日

舞鶴に於て驅逐艦橘の進水式を行ふ○段祺瑞以下北軍將校四十六名連署して皇
位退讓及び共和制決行を清國皇帝に上奏す

正月廿八日

清國紅十字團長王曾燾、東京に來朝す

正月三十日

實業學務局長眞野文二、電車に轢かれて重傷す○僧大草惠實寂年五十五

二月 五日

東京淺草國技館の開館式を行ふ

二月 七日

實業家中村善四郎歿す年六十六

二月 八日

山口縣豊浦郡吉見村大火あり、百十一戸焼く

二月 九日

政治家征矢野半彌歿す年五十六

二月 十日

博多沖に於て汽船凌波丸沈没し、乗員三十餘名行方不明と爲る

二月十一日

學習院女學部本館焼失す

二月十二日

日本・丁抹通商航海條約並に特別相互關稅條約の調印成る○清國宣統皇帝、退
位の上諭を公布し、後事を袁世凱に托す、三百年の清朝遂に滅ぶ○袁世凱、假
政府を設く

二月十四日

陸軍中將上田有澤を大將に、同少將松川敏胤、大澤界雄を中將と爲す○陸軍中

清朝滅ぶ

征矢野半彌歿す

同志社大學
設立
日露協會成
る

將山根武亮を第十二師團長に、同小泉正保を第八師團長と爲す○藥學博士下山順一郎歿す年六十 提要無機化學、藥用植物學、
要提有機化學、生藥學
二月十五日 京都、私立同志社専門學校を私立同志社大學と改稱す○中華民國臨時大總統改選を行ひ、袁世凱當選す、是に於て南北一致の共和國成立す
二月十六日 朝鮮漁業令を公布す○日露協會の組織成立す○伯爵土方久之は八十歳の高齢に達したるを以て宮中杖を許さる

二月十七日 ハリスト正教大主教ニコライ寂年七十八

二月十八日 陸軍中將松永正敏歿す年六十六○航海家古川庄八歿す年七十八

二月二十日 黎元洪、中華民國副總統に當選す

二月廿二日 土木請負業鹿島岩藏歿す年六十九

二月廿三日 臺灣永代借地權令を公布す○信州燒ヶ嶽大爆發し、東京に降灰あり○大阪、株式會社住友銀行を設立す

二月廿四日 曹洞宗本山總持寺へ金一千圓を下賜せらる

二月廿五日 内相原敬、華族會館に神道、佛教、基督教の三教代表者七十一名を招待して大懇親會を開く

二月廿六日 陸軍服制を改正公布す○故勤王家眞田幸貫以下四十五名に各贈位あり○第二回

世界大觀光團五百十五名來朝す○神、佛、基三教代表者、再び華族會館に會合し、「吾濟は各々其教義を發揮し、皇運を扶翼し、益々國民道德の振興を圖らん

住友銀行設
立

事を期す、吾濟は當局者が宗教を尊重し、政治、宗教及び教育の間を融和し國運の伸張に資せられん事を望む」と決議す
陸軍少將石橋健藏、岡市之助、藤本太郎、内藤新一郎、仁田原重行を中將と爲す○陸軍中將仁田原重行を第二師團長と爲す○陸軍大將西寛二郎歿す年六十七

高崎正風歿
す

二月廿七日 陸軍少將石橋健藏、岡市之助、藤本太郎、内藤新一郎、仁田原重行を中將と爲す○陸軍中將仁田原重行を第二師團長と爲す○陸軍大將西寛二郎歿す年六十七
○男爵高崎正風逝去年七十七 歌ものかたり一巻、千草の花六巻、
埋木廻花二巻、進講筆記、たづがね集
二月廿八日 日佛通商航海條約を公布す○北京に暴動起り、兵匪掠奪暴行を恣にして城内無政府状態に陥る○評論家池邊吉太郎歿す年四十九

山陰線全通

三月 一日 山陰鐵道の全線開通す○東京今川橋成る○朝鮮貴族に關する審査委員會規程を定む○讃岐金比羅神社三百年記念大祭を執行す

三月 二日 天津に暴動起る

三月 三日 勤王家南部次郎歿す年七十八

三月 四日 伯爵鷺尾隆聚歿す年七十一

三月 五日 明治大學を燒失す○衆選舉法中改正案を可決す

三月 六日 熊本專賣局燒く

三月 七日 (貴)總豫算案を可決す

三月 九日 女子教育家三輪田眞佐子、棚橋絢子を勳六等に叙し、寶冠章を授く

三月 十日 北京に於て袁世凱の臨時大總統就任式を行ふ○畫家西島青浦歿す年八十五

三月 十一日 新潟縣國幣中社彌彦神社燒失す○醫學者長谷川泰歿す年七十一 脚氣新説、簡明藥物學、
植物綱目、斯氏肺病論

明治大學燒
く

朝鮮不動産登記令公布

三月十三日 平山成信を宮中顧問官と爲す○男爵西徳二郎逝去年六十六中央亞細亞紀事

三月十四日 勤王家樺山久舒歿す年八十一

三月十七日 長崎に於て戦艦霧島の起工式を行ふ○實業家梅浦精一歿す年六十一

三月十八日 朝鮮不動産登記令を公布す○男爵栗野慎一郎を子爵と爲す○東京上野公園内の故小松宮彰仁親王の銅像除幕式を行ふ

三月十九日 陸軍大將貞愛親王、川村景明、大島久直に特命檢閲使を仰付らる○文部省に於て文學博士坪内雄藏の表彰式を行ふ○伯爵滋野井實麗、詐欺事件にて拘引され東京監獄に收監さる

三月二十日 皇太子嘉仁親王、大山巖邸に行啓あり○(貴)衆議院選舉法改正案を否決す○權掌侍北島以登子逝去年六十一

三月廿一日 東京深川洲崎に大火あり、一千百四十九戸焼く

三月廿二日 朝鮮不動産證明令、同登録稅令を各公布す

三月廿三日 日本大博覽會事務局官制を廢止す○東京府下豊島師範學校燒失す○仙臺佐沼町大火あり、百三十五戸焼く

三月廿五日 板橋陸軍火藥庫爆發し、即死者二名を出す

三月廿六日 帝國議會の閉院式を行ふ、首相西園寺公望、勅語を捧讀す○男爵小澤武雄、伯爵小笠原長幹等、萬國赤十字大會參列の爲め、東京を出發し米國に赴く○宗教家本多庸一歿す年六十五

深川大火

朝鮮關稅令公布

三月廿七日 朝鮮公立小學校規則、同高等女學校規則を各公布す○皇太子嘉仁親王、東京御發興あり、山梨縣下に行啓あらせらる

三月廿八日 朝鮮關稅令を公布す○朝鮮總督府官制を改正公布す○朝鮮醫院及び濟生院特別會計法を公布す○海軍共濟組規則を定む○銀行家高田小次郎歿す年六十六

三月廿九日 韓國合併記念章制定公布さる○木更津線蘇我、姉ヶ崎間の鐵道成る○吳海軍工廠の職工、待遇改善を要求して同盟罷業に入る○英國探險家スコット大佐一行、大吹雪の爲め南極に於て全滅す

三月三十日 實業家藤田傳三郎歿す年七十二○理髮界の名物男黒市事奥村市藏歿す年七十二

三月 中 朝鮮郵船會社を設立す

三月 中 沖繩縣に衆議院選舉法を施行す

四月 一日 東京萬世橋停車場成る○京都、私立同志社大學を開校す○石塚英藏を朝鮮總督府農商工部長官と爲す○吳海軍工廠の同盟罷業擴大し、參加職工二千五百名に達す

四月 二日 陸軍大臣石本新六歿す年五十九○池上本門寺の開堂式を行ふ○杉田定一、江原素六、寺原長輝を貴族院議員と爲す

四月 三日 伊豆大島三原山大噴火あり

四月 四日 吳海軍工廠の罷業職工、殆んど鎮靜に歸す○法學者岸本辰雄歿す年六十一佛國商事會社

吳海軍工廠の罷業事件

石本新六歿す

法講義、法學通論、佛國法典改正論、帝國憲法要領

函館大火

石川啄木歿す

四月 五日 陸軍中將上原勇作を陸軍大臣と爲す
 四月 六日 海軍大將片岡七郎に海軍特命檢閲使を仰付らる
 四月 七日 實業家三井三郎助歿す年六十三
 四月 八日 保險業法を改正公布す○貴族院議員堀基逝去年六十七
 四月 十日 首相官邸に於て地方長官會議を開く○辰馬吉左衛門を貴族院議員と爲す
 四月 十二日 陸軍少將山田忠三郎、本郷房太郎を中將と爲す○陸軍中將山田忠三郎を第十四師團長と爲す○函館大火あり、七百三十三戸焼く○南京に暴動起る
 四月 十三日 久我通久を御歌所長心得と爲す○小説家石川啄木歿す年二十七 あこがれ、島日影、歌一團と彼、道、葉書、悲しき玩具、啄木全集、おもかげ、足跡、漂泊、赤痢、雲は天才である、雜列、病院の窓、母、天竺絨、足跡
 四月 十四日 獨逸皇族ワルデマール親王、長崎に來朝あり○世界最大汽船英國のタイタニツク號、大氷山と衝突沈没して乗員一千五百九十五名溺死す
 四月 十五日 東京、帝國火災保險株式會社を設立す
 四月 十六日 新潟縣加茂町大火あり、二百二十五戸焼く
 四月 十八日 海運業淺田正文歿す年五十九
 四月 十九日 名古屋附近に暴風大降雹あり、境川附近に於て列車吹き飛ばされ貨車十五輛轉覆す
 四月 二十日 石原純固を海軍軍醫總監と爲す
 四月 廿一日 大分縣湯平溫泉大火あり、百餘戸焼く

松本大火

夕張炭坑大爆發

四月 廿二日 神宮神部署官制を公布す○海獸獵禁止法を公布す○マニラ野球隊來朝す○松本市大火あり、一千三百五十餘戸焼く
 四月 廿四日 皇后、沼津より還啓あり○機械水雷の創造者海軍少將小田喜代藏歿す年四十九
 四月 廿五日 醫學者能勢靜太歿す年四十九
 四月 廿六日 天皇、皇后、濱離宮に行幸啓あり、觀櫻御會に臨み給ふ○陸軍大將大島義昌を軍事參議官に、同中將福島安正を關東都督に、少將大島健一を參謀本部次長と爲す○東京、富士身延鐵道株式會社を設立す
 四月 廿九日 岡野敬次郎を共通法規調査委員長と爲す○北海道札幌夕張炭坑の瓦斯大爆發し坑夫二百七十八名慘死し、殆んど全滅す
 四月 三十日 防疫職員官制を公布す
 五月 一日 臘虎、臘臍、獸保護臨時職員設置を公布す
 五月 二日 豐原町の樺太中學校を開校す
 五月 三日 天皇、千葉縣下六方野の陸軍砲兵射擊學校に行幸あり、山砲實彈射擊を覽給ふ
 五月 四日 獨逸皇族ワルデマール親王、入京せらる
 五月 六日 實業家中澤彦吉歿す年七十四
 五月 七日 日丁通商航海條約を公布す
 五月 八日 獨逸皇族ワルデマール親王、參内謁見あり○石井菊次郎を特命全權大使と爲し佛國に駐劄せしむ○北垣國道、菊池大麓を樞密顧問官に、倉知鐵吉を外務次官

南極探險隊
歸朝

五月 九日 天皇、霞ヶ關離宮に行幸あり、獨逸皇族ワルデマール親王を御訪問あらせらる

五月 十日 毒劇物取締規則を公布す

五月十二日 南極探險隊白瀬轟中尉一行、長崎に歸着す

五月十三日 皇后、東京慈惠會總會に行啓あり○久原躬弦を京都帝國大學總長と爲す

五月十四日 志士岡本柳之助歿す年六十一

東洋政策、回想録、北海道
史稿、紀州徳川近政記

五月十五日 第十一回衆議院議員總選舉を行ふ○(東京)高木益太郎、藏原惟郭、鈴木梅四郎、

第十一回總
選舉

中島行孝、星野錫、黒須龍太郎、關直彦、三輪信次郎、古島一雄、稻茂登三郎、

松下軍治、高木正年、森久保作藏、望月右内、漆昌巖、村野常右衛門、(京都)

中安信三郎、濱岡光哲、平井熊三郎、奥繁三郎、田中數之助、木村良、岡田泰

藏、清水仁三郎、(大阪)岩下清周、七里清介、紫安新九郎、三谷軌秀、菊池侃

二、中橋徳五郎、大西五一郎、岩崎安次郎、中辰之助、井坂光暉、本出保太郎、

植場平、秋岡義一、(神奈川)島田三郎、若尾幾造、石渡秀吉、山宮藤吉、安村

竹松、井上篤太郎、小泉又次郎、長谷川豊吉、(兵庫)松方幸次郎、野添宗三、

大森與三次、柴崎鹿之助、肥塚龍、丸尾光春、伊藤英一、改野耕三、高鍋篤郎、

横田孝史、小寺謙吉、安藤新太郎、平野龜之助、齋藤隆夫、(長崎)永見寛二、

中倉万次郎、横山寅一郎、帆足隼太郎、則元由庸、本田恒之、田川大吉郎、早

川鐵治、(新潟)若杉喜三郎、川合直次、中野貫一、大竹貫一、高橋光威、目

黒孝平、坂口仁一郎、増田義一、田邊熊一、川上淳一郎、加藤勝彌、丸山豊治

郎、佐野喜平太、山本悌二郎、(埼玉)指田義雄、田中左司馬、齋藤安雄、大島

寛爾、粕谷義三、加藤政之助、齋藤珪次、福田又一、綾部惣兵衛、(群馬)竹越

與三郎、矢島八郎、武藤金吉、細野次郎、根岸岨太郎、日向輝武、葉住利藏、

須藤嘉吉、(千葉)福澤桃介、鶴澤總明、吉植庄一郎、小林勝民、柏原文太郎、

板倉中、加瀬禧逸、長島鷲太郎、鶴澤宇八、松本剛吉、(茨城)小山田信藏、根

本正、小久保喜七、宮古啓三郎、原脩次郎、飯田新右衛門、太田直次、相島勘

次郎、關信之介、濱名信平、(栃木)石田仁太郎、石川甚作、横田千之助、友常

穀三郎、阿田葉鎗三郎、横尾輝吉、田村順之助、(奈良)八木逸郎、中山梅治

郎、岩本平藏、村井善四郎、奥山寛平、(三重)松本恒之助、井上敏夫、濱田

國松、梅原龜七、尾崎行雄、岡八、辻寛、森茂生、川村曄、(愛知)石黒磐、安東

敏之、三輪市太郎、大口喜六、森田小六郎、徳倉六兵衛、鈴置倉次郎、清水市

太郎、田中善立、河村寛祐、吉原祐太郎、春田祐清、早川龍介、(靜岡)尾崎元

次郎、杉山東太郎、伊東要藏、清峯太郎、大橋頼模、岩崎勳、松城兵作、松浦

五兵衛、高柳覺太郎、鈴木辰次郎、(山梨)佐竹作太郎、根津嘉一郎、市川文藏、

堀内啓治、手塚正次、(滋賀)村田虎次郎、柴田源左衛門、入見米次郎、中小路與

平治、吉田虎之助、森川源吾、(岐阜)原眞澄、安田伊左衛門、岡崎久次郎、高

橋義信、牧野彦太郎、大野龜三郎、佐々木文一、早川六三郎、(長野)笠原忠造、

風間禮助、矢島浦太郎、伊藤大八、小山完吾、岡部次郎、岩岡伊代治、琴川鐵三、小坂順造、山田禎三郎、(宮城)岩崎總十郎、澤來太郎、田代進四郎、遠藤良吉、菅原傳、藤澤幾之輔、村松龜一郎、(福島)日下義雄、堀切善兵衛、吉田定之助、鈴木萬次郎、半谷清壽、鈴木寅彦、井深彦三郎、松本孫右衛門、河野廣中、(岩手)原敬、福田善三郎、工藤吉次、棚瀬軍之佐、阿部德三郎、鈴木巖、(青森)菊池武徳、樋口喜輔、工藤善太郎、伊藤祐一、津島源右衛門、廣澤辨二、(山形)戸狩權之助、小林源藏、伊藤知也、細梅三郎、長晴登、竹中欽次郎、齋藤三郎右衛門、佐藤信古、(秋田)井上廣居、町田忠治、榊田清兵衛、齋藤宇一郎、添田飛雄太郎、田中隆三、三浦盛徳、(福井)八田裕二郎、大橋松二郎、吉田圓助、熊谷五右衛門、高島茂平、(石川)戸水寛人、山本七朗、米田穰、松田吉三郎、相川久太郎、眞館貞造、(富山)岩田大中、木津太郎平、森丘覺平、武部其文、上埜安太郎、廣瀬鎮之、野村嘉六、(鳥取)濱本義顯、法橋善作、西谷金藏、奥田柳藏、(島根)福岡世徳、恒松隆慶、島田俊雄、高橋久次郎、石田孝吉、小川藏次郎、原田赴城、(岡山)有森新吉、豊福泰造、犬養毅、守屋此助、山谷虎三、福井三郎、小出五郎、西村丹治郎、坂本金彌、(廣島)串本康三、橋本太吉、花井卓藏、佐々木仙一、井上角五郎、荒川五郎、湯淺凡平、桑原伊十郎、早速整爾、有田温三、金尾稜嚴、森田俊左久、(山口)土井重吉、渡邊祐策、國光五郎、林永太、大岡育造、小河源一、金子圭介、久保通猷、(和歌山)阪本

南極探險隊
歸朝

五月十六日 南極探險隊長白瀨轟中尉一行、東京に到着す
五月十七日 皇太子嘉仁親王、御見學の爲め早稻田大學に行啓あり
五月十八日 天皇、陸軍經理學校に行幸あり、還幸の途次狂人、鹵簿を犯す○帝國發明協會

彌一郎、小山谷藏、兒玉亮太郎、岡部邦輔、西風重遠、中村啓次郎、(徳島)一坂俊太郎、秋田清、川眞田徳三郎、坂東勘五郎、中川虎之助、大久保弁太郎、(香川)小田知周、白川友一、林毅陸、三土忠造、増田穰三、小西和、松家徳二、(愛媛)高野金重、才賀藤吉、渡邊修、武内作平、矢野莊三郎、清水隆徳、成田榮信、武市庫太、(高知)光森徳治、片岡直温、白石直治、富田幸次郎、大石正己、岡田榮、(福岡)鶴原定吉、有馬秀雄、土方千種、友枝梅次郎、樋口典常、野田卯太郎、藏内次郎作、吉原正隆、富安保太郎、的野半介、加藤新次郎、永江純一、大内暢三、大原義剛、(大分)元田肇、木下謙次郎、津末良介、箕浦勝人、松田源治、秋本豊之進、(佐賀)江副靖臣、武富時敏、川原茂輔、狩野雄一、八坂甚八、松田正久、(熊本)山田珠一、井手三郎、守山又三、松野時次、安達謙藏、高田露、渡邊國重、原田十衛、江藤哲藏、(宮崎)水間此農夫、塚本常彌、濱田政壯、肥田景之、(鹿児島)飛岡卯一郎、長谷場純孝、柚木慶二、平田禎、奥田榮之進、肥後靜雄、志々目藤彦、武満義雄、麓純義、(北海道)淺羽靖、平出喜三郎、高橋直次、東武、内山吉太、木下成太郎、(沖繩)高嶺朝教、岸本賀昌、當選す

金剛進水式

に於て無線電信の發明者鳥瀉右一、横山英太郎、北村政次郎の表彰式を行ふ○獨逸皇族ワルデマール親王、横濱解纜歸國さる○英國に於て我新式戰艦金剛の進水式を行ふ○東京、日本モスリン紡績株式會社を設立す

五月十九日 臺灣私設鐵道運輸規程を定む

五月二十日 英國東洋艦隊司令長官海軍中將サー・アルフレッド・エル・ウキンスロー參内謁見す

五月廿一日 嵯峨天皇、皇后御陵を京都府葛野郡嵯峨村に治定せらる○女流武藝家小松崎古登子歿す年六十七

五月廿二日 天皇、海軍大學校に行幸あり○朝鮮前一進會長李容九歿す年四十五

五月廿三日 皇后、日比谷公園に行啓あり、赤十字社總會に臨み給ふ○美術工藝家叔山東洲歿す年五十五

五月廿五日 米國飛行家アット・ウオータ、水上機に搭乗し、京濱間遠距離大飛行の爲め横濱を出發し、大師河原沖に墜落して小蒸汽船に救助さる

五月廿六日 代議士松本剛吉、選舉違反にて拘引さる

五月廿七日 奥田義人、加藤恒忠、福永吉之助を貴族院議員と爲す○加藤文雅寂す年四十七

五月廿八日 天皇、陸軍士官學校に行幸あり○木精取締規則を定む

五月廿九日 五代都々逸扇歌歿す年五十五

五月三十日 天皇、陸軍中央幼年學校に行幸あり○皇后、濱離宮に行啓あり

郵便物空送

五月 中 篆刻家山本拜石歿す年八十四

六月 一日 京都國技館成る○鳥取市に於て山陰線の開通式を行ふ○米國飛行家アット・ウオータ、再び水上飛行機にて京濱間を飛行し、始て郵便物空送に成功す

六月 二日 朱舜水二百五十年祭を第一高等學校に行ふ○陸軍大佐秋山房次郎歿す年四十九

○畫家高橋廣湖歿す年三十八

六月 三日 皇后、御茶水女子高等師範學校に行啓あり○京城地方院檢事局にて寺内總督暗殺陰謀事件の被告尹致昊等百二十三名を起訴す

六月 五日 京都也阿彌ホテル焼く○本願寺特派橋瑞超は中央亞細亞を探險して歸朝す

六月 六日 皇后、代々木御料地に行啓あり○私娼の檢徴を實施さる

六月 七日 日蓮宗富士派を日蓮正宗と改稱す

六月 八日 國幣小社伊和神社を國幣中社に列す

六月 九日 皇太子嘉仁親王、李王世子邸に行啓あり○洋畫家渡邊與平歿す年二十四

六月 十日 皇后、九段靖國神社能樂堂に行啓あり

六月 十三日 皇后、鎌倉由井ヶ濱に行啓あり、御清遊あらせらる○東京市長尾崎行雄、辭表を提出す

六月 十四日 米國ハーヴァート大學總長エリオット博士、來朝す○奇術師松旭齋天一歿す年六十

六月 十五日 朝鮮輕便鐵道令を公布す○東海道線特別急行列車を始運轉す○工費二千萬圓を

朝鮮輕便鐵道令公布

列車衝突

投じたる京都第二疏水上水道、道路擴築、電鐵敷設の三大工事竣工祝賀式を平安神宮に擧ぐ

六月十六日 横須賀市逸見塚山の三浦按針ウヰリアム アダムス碑の除幕式を行ふ

六月十七日 大垣驛構内に於て軍用列車貨物列車と衝突し、兵士七名、即死五十三名の重輕傷者を生ず

六月十八日 東京、旭日生命保險株式會社を設立す○此頃米價騰貴し、細民の困窮甚々しく日米商人の不正辨を用ひる者を檢舉す

六月十九日 奉天に軍隊の暴動起る

六月二十日 皇后、新宿御苑に行啓あり○南極探險船開南丸、東京灣に歸著す

六月廿二日 樺太に於ける石炭の採掘に關する法律を公布す

六月廿三日 東京府下目黒にて青木昆陽記念碑の竣工式を行ふ○僧勸修寺勇心寂す年五十六

六月廿四日 山内勝明を宮中顧問官と爲す

六月廿五日 國學者畠山健歿す年五十五國語漢文中辭林、作文新辭林、古文ものかたり、御伽草紙、百人一首訓義、作文新辭林、大正女學讀本、中等日本文典、普通國文

六月廿六日 皇太子嘉仁親王、東京府立工藝學校に行啓あり○千島得撫水道に於て警備艦浪速座礁浸水す

六月廿七日 丁扶國特命全權公使ペー・アーレフェルト・ラウルフノツゲ參内して信任狀を捧呈す○朝鮮總督寺内正毅 東京に到着す

六月廿九日 天皇、陸軍戸山學校に行幸あり○東京、南洋起業株式會社を設立す

畠山健歿す

日蘭新條約成る

六月三十日 東京救世軍施療病院成る

六月 中 大阪市に財團法人大阪職業紹介所を設立す

七月 一日 秋田縣能代町大火あり、百二十一戸焼く○萬國赤十字大會參列委員長小澤武雄等歸朝す

七月 三日 朝鮮總督寺内正毅、參内して朝鮮經營及び李王家近況を伏奏す○東京、日佛銀行を創立す

七月 四日 相撲取立田山政吉歿す年五十二○勤王家山本復一歿す年七十三王愚山人詩鈔、明治中興史逸事、山城草木誌

七月 五日 英國倫敦に於て國際無線電信條約に調印す○東京タクシー自動車株式會社を設立す○陸軍中將平佐良藏歿す年六十二

七月 六日 日本、和蘭通商航海條約に調印す○皇后、芝離宮に行啓あり○前首相桂太郎、後藤新平と共に東京を出發し、歐洲漫遊の途に上る○法學者菊池武夫歿す年五十九民法財産編民法債權擔保篇、沿革法理學、古代法、慣習法、松田前法相と刑法

七月 七日 政友會近畿大會を大阪に開く○東京府下の不良青年二百五十名の大檢舉を行ふ

七月 八日 米價騰貴の爲め、外國米の食用行はれ、東京市にては外米販賣扱の方法を決議す○實業家長坂重孝歿す年六十五

七月 九日 海軍中將出羽重遠を大將と爲す○米價益々騰貴の結果各地に於て外國米賣出盛んに行はる

米價騰貴

皇室會計令
公布

七月 十日 天皇、東京帝國大學に行幸あり○皇室會計令を公布さる○舊堂上華族保護資産令を公布す○華族談話會を解散す

七月十二日 阪谷芳郎を東京市長と爲す

七月十三日 衆議院議員選舉法改正調査會官制を廢止す○米國ハーヴァート大學總長エリオット博士、横濱解纜歸國す○儒者伊藤如石歿す年八十

御發病

七月十四日 天皇、御發病あり○東京九段偕行社に於て斯道會の發會式を行ふ、國民道德振興を目的とす○印刷業者西川忠亮歿す年五十八

七月十五日 陸軍少將藏田虎助を中將と爲す○柳谷卯三郎を日本勸業銀行副總裁と爲す○畫家狩野友信歿す年六十九

七月十六日 恩賜財團濟生會東京市診察規程を定む

七月十七日 福岡縣遠賀郡大熊炭坑の瓦斯爆發し坑夫五十名負傷す

七月十八日 千島得撫水道に坐礁中の軍艦浪速、遂に沈没す

七月十九日 東京新大橋の開橋式を行ふ

七月二十日 天皇御不例官報にて發表せらる、帝國劇場其他相次いで休業す○樺太縱貫鐵道

七月廿二日 假置場法を公布す○豪雨の爲め、富山縣下新川郡の小川溫泉全滅し二十四名溺死す○淨瑠璃太夫竹本綱太夫歿す年七十四

七月廿三日 陸軍少將渡邊湊逝去年五十二

樺太縱貫鐵道
道成る

七月廿四日 皇太子嘉仁親王、初めて天皇御病床を見舞ひ給ふ

七月廿六日 加賀守之吉(滋賀) 補缺衆議院議員に當選す

七月廿八日 天皇、御危篤に陥り給ふ、市民愕然色を失ひ、二重橋外に日夜大群集して赤誠祈願す

七月廿九日 宮中緊急會議を開かる

七月三十日 天皇、崩御し給ふ寶算六十一○皇太子嘉仁親王、踐祚あらせらる○大正と改元あり○大喪使官制を公布す○明三十一日より五日間廢朝仰出さる

明治天皇崩御

七月廿四日 皇太子嘉仁親王、初めて天皇御病床を見舞ひ給ふ

七月廿六日 加賀守之吉(滋賀) 補缺衆議院議員に當選す

七月廿八日 天皇、御危篤に陥り給ふ、市民愕然色を失ひ、二重橋外に日夜大群集して赤誠祈願す

七月廿九日 宮中緊急會議を開かる

七月三十日 天皇、崩御し給ふ寶算六十一○皇太子嘉仁親王、踐祚あらせらる○大正と改元あり○大喪使官制を公布す○明三十一日より五日間廢朝仰出さる

昭和十年五月廿四日 印刷
昭和十年五月廿八日 發行

國史大年表第五卷

(第五回配本)



著者 日置 昌一

發行者 下中 彌三郎

印刷者 關口 一男

東京市日本橋區吳服橋三ノ五

東京市日本橋區吳服橋三ノ五

發行所

東京市日本橋區吳服橋三ノ五
振替東京二九六三九番

株式會社

平凡社

電話日本橋 二二二 五五五 九八七 番番番

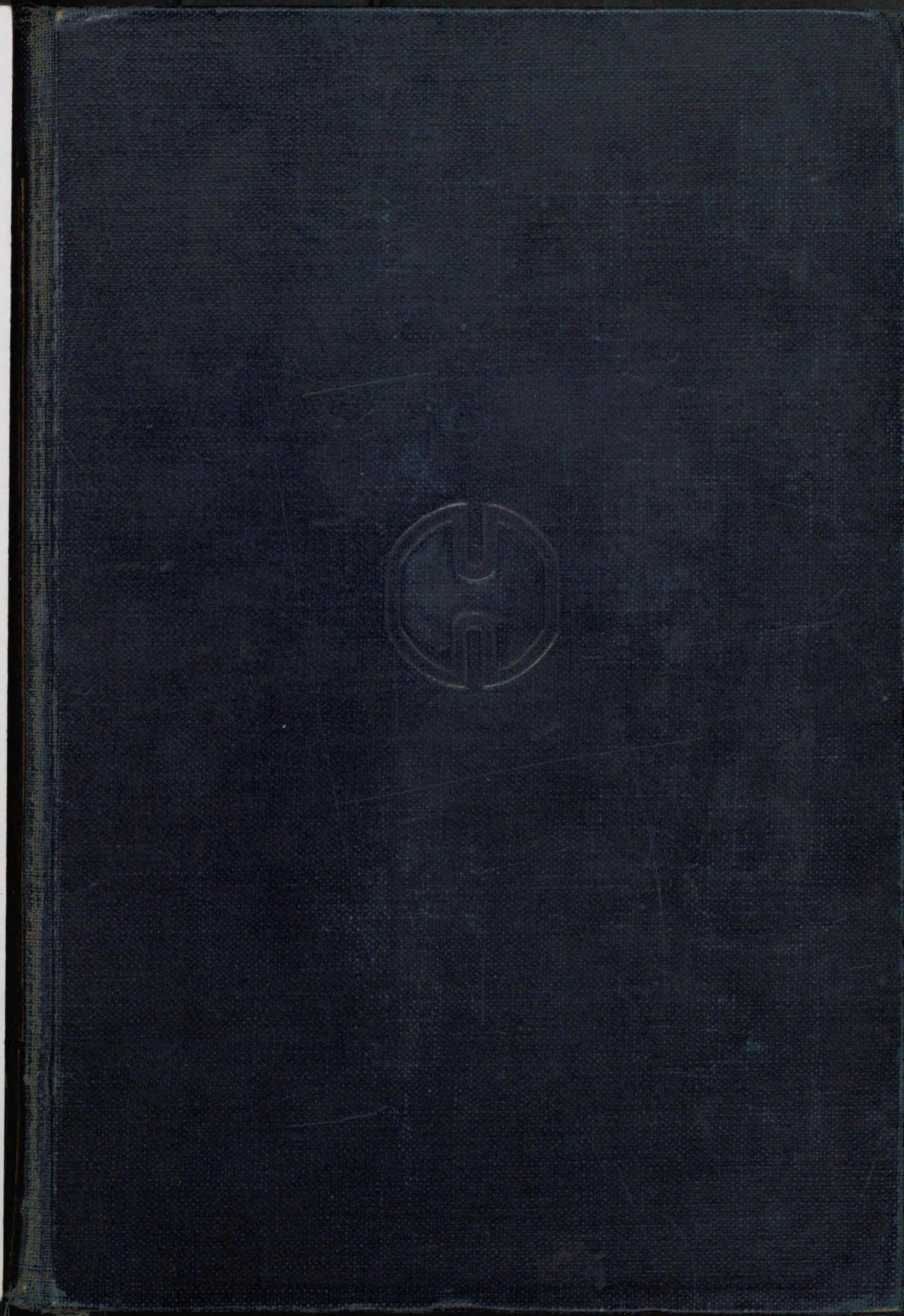
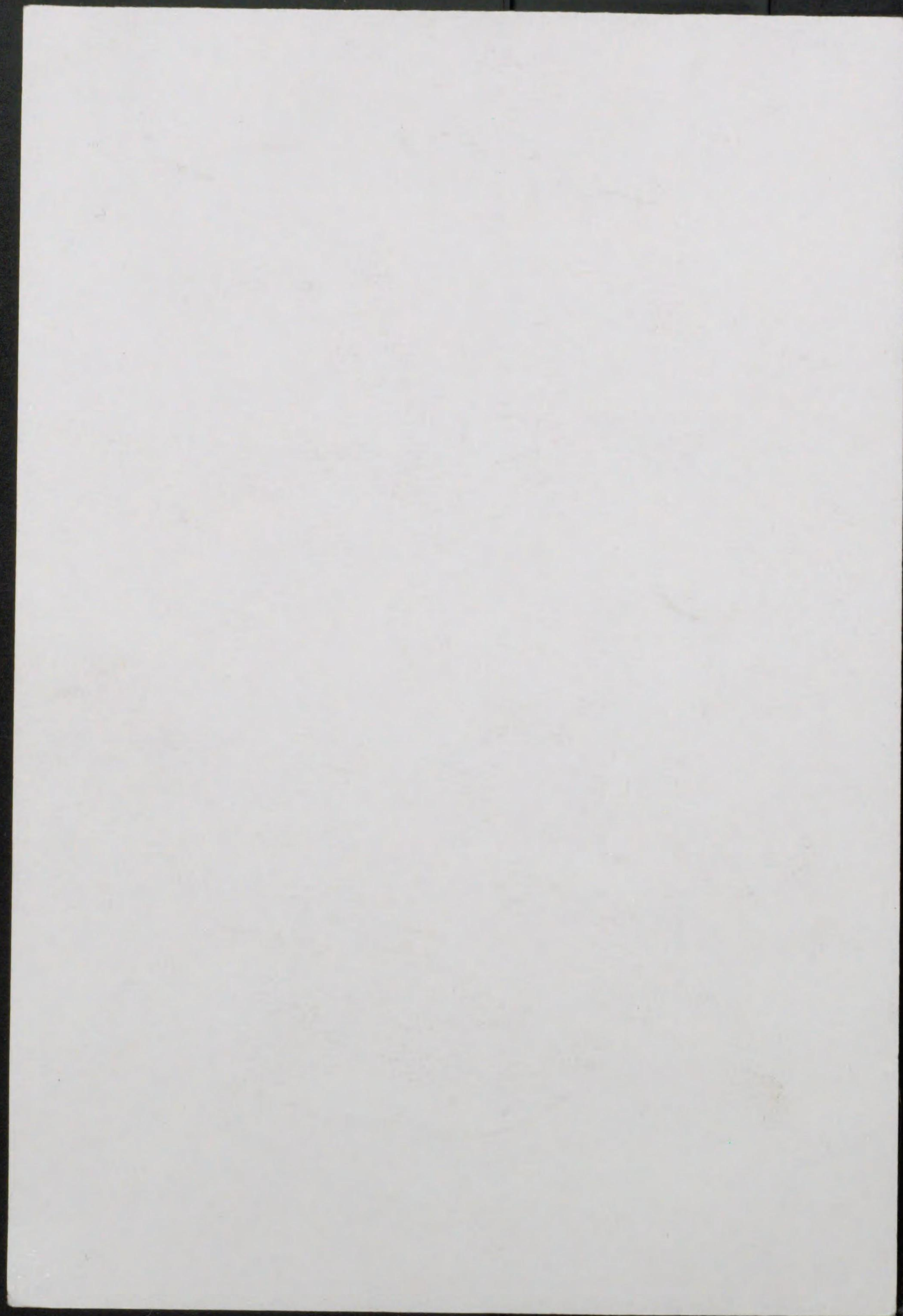
本製波湧・刷印社會式株刷印同共

此書係由日本學者所編，內容豐富，
 對於研究中國文學史者，實為不可缺
 之參考資料。其編者之用心，實為
 良苦。凡欲研究中國文學者，不可
 不讀此書。

此書之編者，實為日本學者中之
 佼佼者。其所編之書，內容詳盡，
 且附有大量之註釋，對於讀者之
 理解，實有極大之幫助。凡欲研究
 中國文學者，不可不讀此書。

昭和十一年五月廿四日 發行		發行所 東京 三友社
定價 大洋一元	發行所 東京 三友社	發行所 東京 三友社
國文大學 東京	發行所 東京 三友社	發行所 東京 三友社

此圖即原刊大會採印圖・國文大學

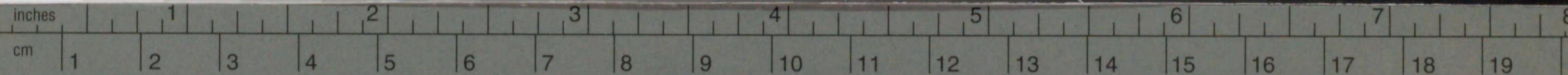


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

